

令和8年4月入学者用

# 令和8年度 入学者選抜要項

- 一般選抜（前期日程）
- 一般選抜（後期日程）
- 学校推薦型選抜
- 私費外国人留学生入試

入学者選抜要項は、学部入学試験の入学者選抜に関する基本的な事項について記載したものです。試験時間や出願方法等の詳細は、次に示す募集要項に記載しますので、必ずご確認ください。

なお、一般選抜学生募集要項及び学校推薦型選抜学生募集要項については、冊子での配布は行っておりません。本学ウェブページにてご確認ください（PDF形式）。

- ・一般選抜学生募集要項（令和7年11月上旬公表予定）※PDF形式
- ・学校推薦型選抜学生募集要項（令和7年7月下旬公表予定）※PDF形式
- ・私費外国人留学生募集要項（令和7年6月下旬公表済み）※冊子配布あり

入学者選抜の方法や日時等を変更する場合は、本学ウェブページでお知らせします。



大阪教育大学  
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

# 目 次

《インターネット出願について》	1
《「入試過去問題活用宣言」への参加について》	1
I 募集人員	2
II 入学者選抜日程	3
III アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	4
IV 選抜方式	10
1 一般選抜	
(1) 出願資格	10
(2) 出願期間	10
(3) 入学試験の日程	11
(4) 次世代教育専攻ICT教育コースにおける出願時の注意事項について	11
2 特別選抜（学校推薦型選抜）	
(1) 出願資格及び要件	12
(2) 出願期間	19
(3) 入学試験の日程	19
3 特別選抜（私費外国人留学生）	
(1) 出願資格及び要件	20
(2) 出願期間	20
(3) 入学試験の日程	20
V 障がい等のある者の事前相談	20
別表1 入学者選抜方法等	21
別表2 入学者選抜の実施教科・科目等について	23
別表3 大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等	29
別表4 英語能力測定試験の成績利用	33
別表5 小論文、面接及び実技検査の実施内容	
(1) 小論文	34
(2) 面接（口述試験を含む。）	35
(3) 実技検査	37
別表6 日本留学試験科目区分一覧	60
◎ 募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜及び私費外国人留学生）の公表及び請求方法	61
◎ 麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》	62
◎ 令和7年度入試結果	63

## 《インターネット出願について》

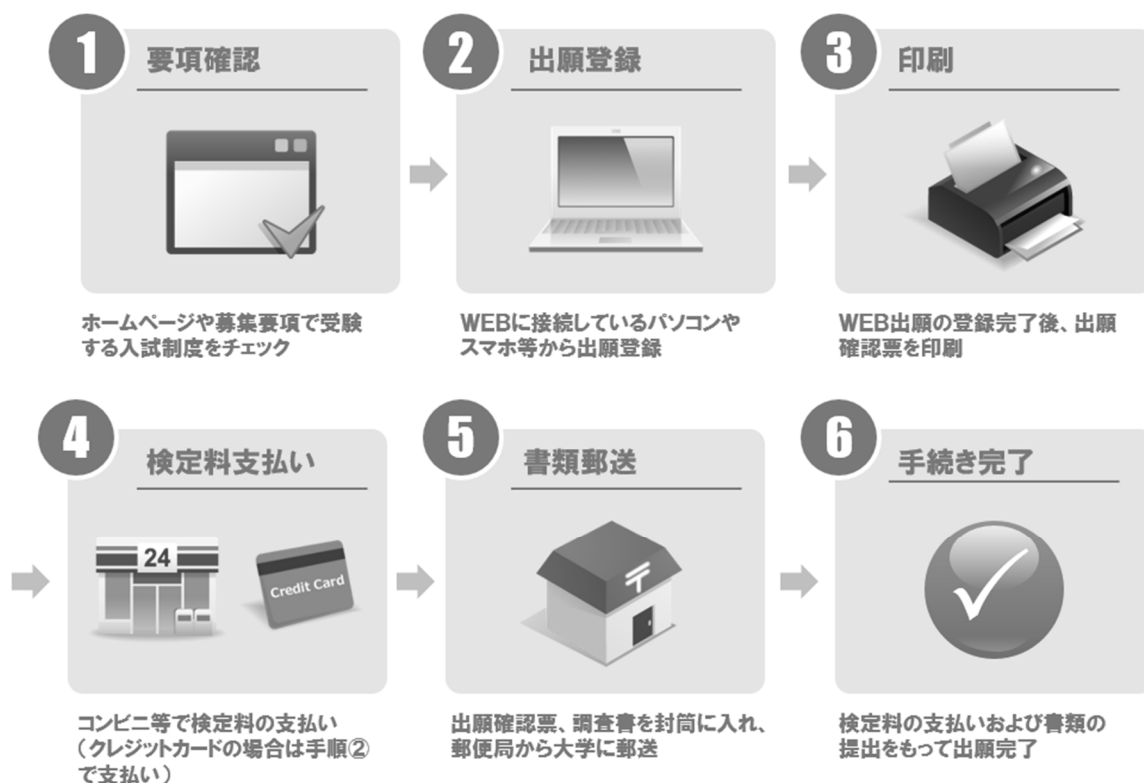
学部一般選抜及び学校推薦型選抜において、インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。

インターネット出願では次の3つの手続きを受付期間中に完了する必要がありますが、**いずれか一つでも受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できません**ので、十分ご注意ください。

1. インターネットによる出願登録
2. 入学検定料等（支払手数料含む。）の支払い
3. 出願に必要な書類等の郵送での提出

ご利用にあたってはメールアドレス、インターネットに接続されたパソコン（スマートフォンでも可）、プリンター（A4出力）が必要です。

出願の流れは次のとおりです。



※詳細について、学校推薦型選抜は7月下旬、一般選抜は11月上旬に本学ウェブページで公表予定の学校推薦型選抜及び一般選抜学生募集要項を参照してください。

**紙の冊子は配布しません**ので本学ウェブページからダウンロードしてください（PDF形式）。

※インターネット環境がない等の理由でインターネットによる出願が行えない場合は、学校等のパソコン等から手続きを行っていただくか入試課まで相談してください。

## 《「入試過去問題活用宣言」への参加について》

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも一部改変することもあります。なお、使用した場合は本学ウェブページでお知らせいたします。詳細は本学ウェブページを参照してください。

# I 募集人員

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース			入学定員 (人)	募集人員内訳 (人)															
						一般選抜					特別選抜(注1)										
						前期日程		後期日程		共通テストを 課さない推薦		共通テストを 課す推薦		共通テストを 課す推薦(特別特)		私費外国人 留学生					
教育学部	柏原・天王寺	学	幼小教育専攻 (注2)	幼児教育コース	480	15		10		—		5		—		—					
				小学校教育コース		45		23		—		17		5							
	柏原	校 教 育 教 員 養 成 課 程	次世代教育専攻 (注3)	教育探究コース	480	40		20		10		—		10		—		—			
				ICT教育コース		20		12		8		—		—		—					
			教科教育専攻 (注4)	国語教育コース		45		30		5		—		10		—					
				英語教育コース		25		17		—		—		8		—					
				社会科教育コース		40		26		—		—		14		—					
				数学教育コース		45		25		20		—		—		—					
				理科教育コース		50		40		—		—		10		—					
				技術教育コース		10		5		1		4		—		—					
				家政教育コース		15		8		3		—		4		—					
				保健体育コース		40		25		10		—		5		—					
				音楽教育コース		20		14		—		—		6		—					
				美術・書道教育コース		25		17		5		—		3		—					
				特別支援教育専攻		45		30		8		—		7		—					
				天王寺			小学校教育(夜間)5年専攻	40	40		25		15		—		—		—		
				柏原			養護教諭養成課程	30	30		25		5		—		—		—		
教員養成課程合計				550	550		352		90		4		99		5						
教育学部	柏原	教育 協 働 学 科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	350	130		55		25		40		20		—		10			
				環境安全科学コース		75		40		20		—		10		—		15			
			教育コミュニティ支援専攻 (注5)	心理学コース		40		20		10		—		—		—		10			
				スポーツ健康コース		130		50		60		20		30		10		30		—	
				芸術表現コース		40		20		10		10		—		—		—			
			グローバル教育専攻	日本語教育コース		90		55		30		—		—		10		5		20	
				国際協働英語コース		35		25		—		—		—		5		—		5	
教育協働学科合計				350	350		180		70		30		20		0		50				
教育学部総計				900	900		532		160		34		119		5		50				

(注1) 特別選抜(学校推薦型選抜、私費外国人留学生入試)の合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 学校教育教員養成課程の幼小教育専攻幼児教育コース及び小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

(注3) 次世代教育専攻ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状が2パターンあり、いずれかを出願時に選択いただきます。

パターンごとの合格者数の目安は次のとおりです。

①情報+小学校 : 高等学校教諭一種免許状(情報)及び小学校教諭一種免許状の取得を希望する者(前期日程6人程度、後期日程4人程度)

②情報+中高数学 : 高等学校教諭一種免許状(情報)、中学校教諭一種免許状(数学)及び高等学校教諭一種免許状(数学)の取得を希望する者(前期日程6人程度、後期日程4人程度)

(注4) 美術・書道教育コースにおける実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおりです。

美術分野(前期日程12人程度、後期日程3人程度)、書道分野(前期日程5人程度、後期日程2人程度)

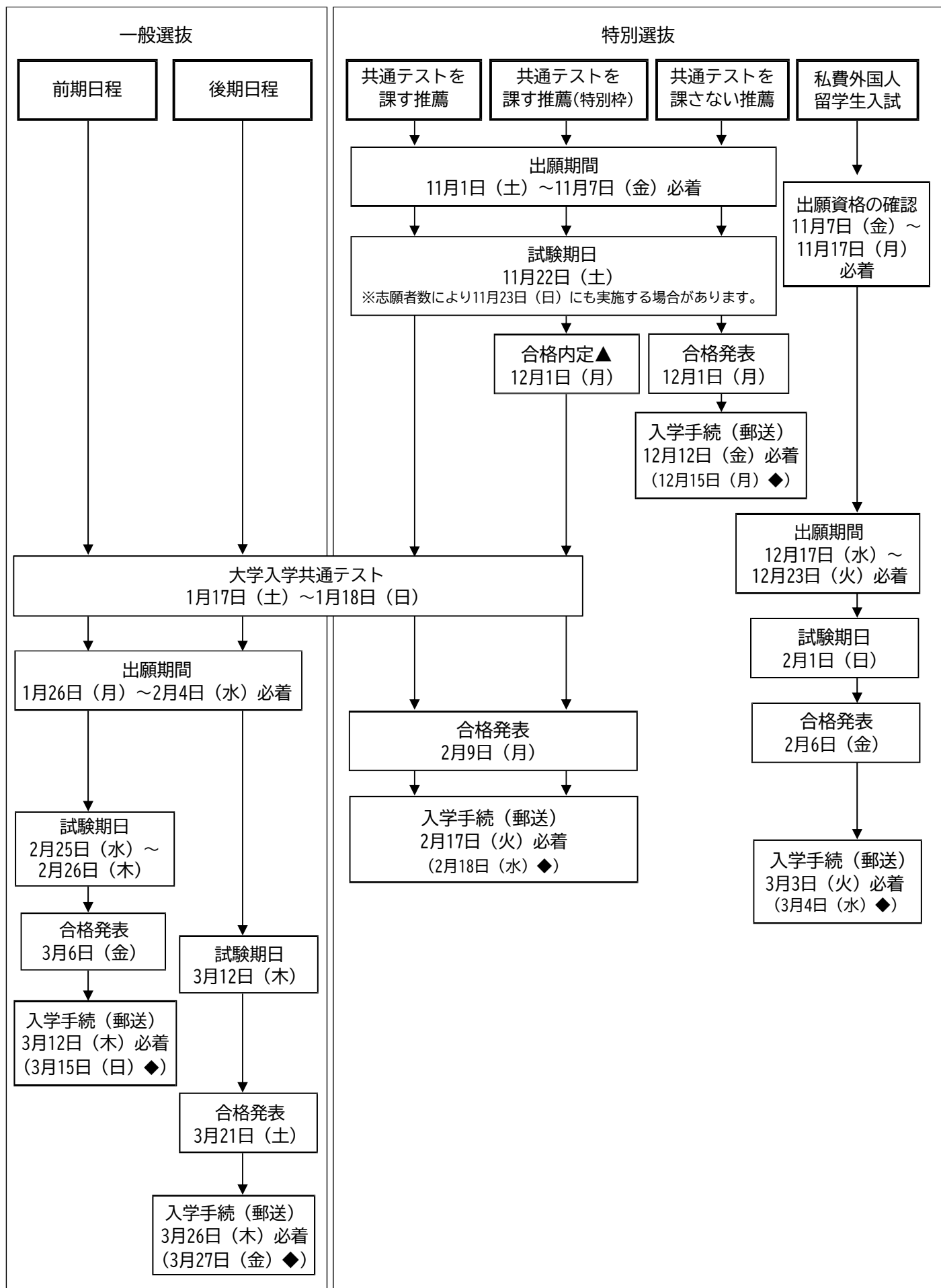
なお、美術・書道教育コースの共通テストを課す推薦の募集は美術分野のみ行います。

(注5) 芸術表現コースにおける実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおりです。

音楽分野(前期日程15人程度、後期日程5人程度)、美術分野(前期日程5人程度、後期日程5人程度)

なお、芸術表現コースの共通テストを課さない推薦の募集は音楽分野のみ行います。

## II 入学者選抜日程



▲ 提出された書類並びに面接の総合判定で、合格内定者を決定します。さらに、令和8年度大学入学共通テストにおいて大学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

◆ やむを得ない事情のため、来学による入学手続を認められた場合は、この期日とします。

### Ⅲ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

#### 「大阪教育大学教育学部アドミッション・ポリシー」

##### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人
- ・教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人
- ・広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

##### 2. 入学者選抜の基本方針

各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

#### 「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

##### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- ・教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- ・社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- ・子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

##### 2. 入学者選抜の基本方針

教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。

- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確認めます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確認するために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確認するために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確認めます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確認するために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確認するために、「実技検査」を課します。
- ・論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- ・高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を確認するため、「活動報告書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

## 「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ・養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- ・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

### 2. 入学者選抜の基本方針

養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学については、入学までに学習していることを期待しています。

## 「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

### 1. 求める学生像

卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- ・専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

### 2. 入学者選抜の基本方針

教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「教科・科目に係る個別テスト」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

- ・「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- ・「教科・科目に係る個別テスト」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- ・「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- ・「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- ・「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- ・専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

### 3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く 強い意欲
				① 知識・ 技能	② 思考力・ 表現力・ 判断力・ 能力	③ 多様な人々 と協働して 学ぶ態度	
幼小教育専攻	幼児教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ○	○ ○	◎ ◎
幼小教育専攻	小学校教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
次世代教育専攻	教育探究コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
		一般：後期日程	大学入学共通テスト 面接 活動報告書	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
	ICT教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト 小論文	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎
		一般：後期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
			面接	◎	◎	◎	◎
学校教育教員養成課程	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
			面接	◎	◎	◎	◎
	一般：後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		面接	◎	◎	◎	◎	
	英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
	社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ △	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
		一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	△ △	◎ △
	数学教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
		一般：後期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎
	理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
一般：前期日程		大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
技術教育コース	学校推薦型	小論文 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
	一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		面接 志望理由書	◎ △	◎ △	◎ △	◎ ◎	
一般：後期日程	大学入学共通テスト 面接 志望理由書	◎ ◎ △	◎ ◎ △	◎ ◎ △	◎ ◎ ◎		
	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ △	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
家政教育コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
	一般：後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ △	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
		大学入学共通テスト	◎	◎	◎	◎	
保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接 実技検査	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	
	一般：前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
一般：後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎		
音楽教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
	一般：前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
美術・書道教育コース	学校推薦型【美術分野】	大学入学共通テスト 実技検査 面接	◎ ◎ △	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	
	一般：前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		面接	△	◎	◎	◎	
	一般：後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
特別支援教育専攻	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
	一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
		大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ ○	◎ ◎	
	一般：後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
		大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
	小学校教育（夜間）5年専攻	一般：前期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎
一般：後期日程		大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	
養護教諭養成課程	一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎ ◎	○ ◎	○ △	◎ ◎	
	一般：後期日程	大学入学共通テスト 面接	◎ ◎	○ ◎	○ ◎	◎ ◎	

※美術・書道教育コースの学校推薦型選抜の募集は美術分野のみ行います。

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素				
				①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎	○		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎	○		
		環境安全科学コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	○	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎	○		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
	教育コミュニケーション支援専攻	心理科学コース	一般：後期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	△	
			学校推薦型	大学入学共通テスト 小論文 実技検査 面接	◎	○	○	
		スポーツ健康コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 実技検査 競技成績に関する証明書	◎	○	◎	
			一般：前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○	
			一般：後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	○	○	
			学校推薦型【音楽分野】	大学入学共通テスト 実技検査 演奏能力・創作力に関する証明書	◎	○	○	
		芸術表現コース	一般：前期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎		
			一般：後期日程	大学入学共通テスト 実技検査	◎	◎		
		グローバル教育専攻	日本語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	○	◎
				一般：前期日程	大学入学共通テスト 小論文	◎	○	○
			国際協働英語コース	学校推薦型	大学入学共通テスト 面接	◎	◎	◎
				一般：前期日程	大学入学共通テスト 教科・科目に係る個別テスト	◎	◎	○

※芸術表現コースの学校推薦型選抜の募集は音楽分野のみ行います。

## IV 選抜方式

本学の入試方法は、「分離分割方式」（前期日程・後期日程）による一般選抜と、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）及び私費外国人留学生入試により実施します。

なお、令和8年度国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の一般選抜は「分離分割方式」により実施されます。

志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって「前期-後期」の併願は認められますが、「前期-前期」、「後期-後期」の併願は認められませんので注意してください。

この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を行った者は、「後期日程」に出願し、これを受験しても、「後期日程」の大学・学部の合格者とはなりません。

※公立大学協会ウェブサイト (<https://www.kodaikyo.org>) 参照

※選抜方法については21～22頁の別表1「入学者選抜方法等」を参照してください。

### 1 一般選抜

#### (1) 出願資格

次のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目（23～28頁の別表2「入学者選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験した者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験している場合は、必ずリスニングテストを受験していること。（リスニングテスト免除者は除く。なお、外国語の配点については24頁参照）

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次のア～カのいずれかに該当する者）
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - エ 文部科学大臣の指定した者
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記の3.カにより出願を希望する者は、事前に個別の入学資格審査を行いますので、必ず入試課（072-978-3324）へ問い合わせの上、次の期間内に個別の入学資格審査申請を行ってください。

・第1回目 令和7年7月31日（木）～令和7年8月18日（月）

※ただし、土日祝日及び8月13日（水）～8月15日（金）を除く。

・第2回目 令和8年1月19日（月）～令和8年1月22日（木）

なお、審査結果は第1回目については令和7年9月12日（金）、第2回目については令和8年1月27日（火）頃に本人宛に通知します。

#### (2) 出願期間

令和8年1月26日（月）～令和8年2月4日（水）必着

### (3) 入学試験の日程

前期日程……令和8年2月25日(水)

ただし、次の3つの専攻・コースは2月25日(水)及び2月26日(木)

課程・学科	専攻	コース
学校教育教員養成課程	教科教育専攻	保健体育コース
教育協働学科	教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース
		芸術表現コース(音楽実技選択者)

後期日程……令和8年3月12日(木)

※前期日程、後期日程ともに志願者数によっては、入学試験の日時を変更することがあります。  
その場合は、受験票の印刷が可能になったことを本学ウェブページ等でお知らせする際に、併せて印刷が可能となる「受験者注意事項」により通知します。

### (4) 次世代教育専攻ICT教育コースにおける出願時の注意事項について

次世代教育専攻ICT教育コースについては、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状が2パターンあり、入学後の教育課程が異なります。出願時に次の①②のいずれかを選択してください。  
この選択は、出願後、変更できません。

- ①情報+小学校 : 高等学校教諭一種免許状(情報)及び小学校教諭一種免許状
- ②情報+中高数学 : 高等学校教諭一種免許状(情報)、中学校教諭一種免許状(数学)及び高等学校教諭一種免許状(数学)

※上記①②のいずれかを出願時に選択。

それぞれの合格者数の目安は2頁の下部(注3)を参照ください。

## 2 特別選抜（学校推薦型選抜）

### （1）出願資格及び要件

#### 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。）</p> <p>② 高等専門学校第3学年を令和8年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})</math> </div> <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評点</td> <td>100～90点</td> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59～0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、小学校教員や中学校・高等学校の技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、ものづくり教育・技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く。）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者</p> <p>（出願資格に関わる大会名等については、次頁参照）</p> <p style="text-align: center;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、 硬式テニス、体操競技、柔道、剣道</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、スポーツの指導者を希望する者</p>												

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

出願資格に関わる大会名一覧〔教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース〕

種目名	大会名等
陸上競技 <リレー種目は除く>	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ）<リレー種目は除く> ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会）<リレー種目は除く> ◇日本陸上競技選手権大会（リレー競技・クロスカントリー競技・混成競技含む。） ◇U20 日本陸上競技選手権大会 ◇JOC ジュニアオリンピックカップ U18 陸上競技大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全国高等学校バスケットボール選手権大会
サッカー	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会 ◇Jユースリーグ ※2 ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本 U-18 女子サッカー選手権大会
バレーボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
硬式テニス	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇全国選抜高校テニス大会 ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全日本ジュニアテニス選手権 ◇全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会（JOC ジュニアオリンピックカップ） ◇ITF ジュニアテニス大会（グレード2以上）
体操競技	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会
柔道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会（旧・国民体育大会） ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会

※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は入試課へ問い合わせてください。

※2 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグに関しては、今年度9節終了時点で東・西各ブロック、8位まで出願可とします。Jユースリーグに関して当該年度に当たっては、出願時各ブロック2位まで出願可とします。

※3 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者</p> <p>A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。）</p> <p>B 高等学校在籍中に声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は声楽・ピアノ・管打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。</p> <p>【出願資格に関わるコンクール名については、次の「出願資格に関わるコンクール名一覧」を参照すること。】</p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。            ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、            サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、            バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者</p> <p>※美術分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

**出願資格に関わるコンクール名一覧【教育コミュニティ支援専攻芸術表現コース【音楽分野】】**

声 楽

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本合唱コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	

器 楽（ピアノ）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者

器 楽（管打楽器）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※1 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※2 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※3 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場合に限ります。
- ※4 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

## 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

次のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目（23～28頁の別表2「入学者選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。）

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 将来、学校教員となることを強く志望する者</p> <p>(4) 学校教育のさまざまな現代的課題に対して強い関心を持ち、教育科学に関わる学際的な知識を学んで、学校教育のあり方を探究していこうとする意欲を持つ者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者</p>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>(3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者</p>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者</p> <p>(4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体種目又は個人種目で全国大会出場以上の成績を収めた者又は個人種目で各ブロック高体連主催の大会でベスト8以上の成績を収めた者</p> <p style="padding-left: 40px;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>各ブロック高体連主催大会名（個人種目のみ対象）            全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者</p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者</p> <p style="padding-left: 40px;">A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p style="padding-left: 40px;">B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ美術に関する科目の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p> <p>※書道分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。</p>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</li> <li>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</li> <li>(3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者</li> </ol>
教育協働学科 教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</li> <li>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>(3) 身近な暮らしの環境から地球環境に至る幅広い課題の探究に強い関心を持ち、自然科学や生活科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合して、自然環境、生活環境にかかわる教育課題の解決と豊かで安全な環境づくりに貢献することを望む者</li> </ol>
教育協働学科 グローバル教育専攻 日本語教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</li> <li>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</li> <li>(3) 日本語・日本文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者</li> </ol>
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者</li> <li>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者</li> <li>(3) 多様な文化、考え方を尊重し、高度な英語運用能力をもって積極的に発信、コミュニケーションを行うとともに、国際的な視野から新たな教育のあり方の創造や教育課題の解決に貢献することを望む者</li> </ol>

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

**大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）**

次に該当する者で、令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が募集区分で指定した教科・科目（23～28頁の別表2「入学者選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。）

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	課程・専攻・コース	出願資格及び要件
	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は(4)の①に該当する場合は1校5名以内、②に該当する場合は1校2名以内とし、①②合わせて1校5名以内とする。 (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者 (3) 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者 (4) 次の①②いずれかに該当する者 ① 高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上修得又は修得見込みの者 ② 高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等（15時間以上のものに限る）に在学校の了解を得て参加し、修了又は修了見込みの者 ※本学開講の教育プログラム以外については、出願資格に該当するかどうかを10月20日（月）までに、必ず入試課までご確認ください。

(2) 出願期間 令和7年11月1日（土）～令和7年11月7日（金）必着

(3) 入学試験の日程 令和7年11月22日（土）

【注】次の入試方法については、志願者数によっては、11月23日（日）にも実施する場合があります。

**大学入学共通テストを課さない推薦** スポーツ健康コース、芸術表現コース【音楽分野】

**大学入学共通テストを課す推薦** 美術・書道教育コース【美術分野】

### 3 特別選抜（私費外国人留学生）

#### （1）出願資格

次のすべてに該当する者

- 1 日本の国籍を有しない者で、日本の永住許可を得ていない者
- 2 次のア、イ、ウのいずれかに該当する者
  - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
  - イ 下記のいずれかの資格を取得した者
    - スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
    - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
    - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
    - グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE A資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（インターナショナルAレベル資格）
    - 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格
  - ウ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2026年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
- 3 在留資格「留学」を取得している者又は入学までに取得できる見込みの者
- 4 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2025年度（令和7年度）日本留学試験（第1回、第2回のいずれか）を受験した者（注1～3）
- 5 上記4の日本留学試験において「日本語」の総得点が250点以上の者

注1 2025年度（令和7年度）日本留学試験の第1回、第2回の両方を受験した場合でも、利用する成績は、受験者が指定するいずれか1つとする。出願後の変更は認めない。

注2 日本留学試験の出題言語は日本語とする。

注3 日本留学試験を受験の際には60頁の別表6「日本留学試験科目区分一覧」に従って、受験すること。

#### （2）出願期間

2025年12月17日（水）～2025年12月23日（火）必着【持参不可】

なお、令和8年度私費外国人留学生募集要項3頁の「5 出願資格確認」に該当する受験希望者を対象に、**事前に出願資格の確認を行います**。該当者は、同募集要項に記載の申請フォーム（Googleフォーム）から必要な情報を入力したうえで、**2025年11月7日（金）～17日（月）（必着）**までに次の書類を郵送（書留）により入試課へ提出してください。

- ①出身学校（日本の高等学校に対応する学校）の修了（卒業）証明書（又は同見込証明書）又はその他出願資格を有することがわかる証明書等のコピー及びその日本語訳
- ②在留資格及び在留期間を証明する書類（在留カードのコピー）  
（②については、すでに日本に在留している方のみ提出してください。）

#### （3）入学試験の日程

2026年2月1日（日）

### V 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、次の期日までに入試課（072-978-3324 メールアドレス nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp 受付時間：平日9:00～17:00）へ相談してください。詳細は次のウェブページを参照してください。  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

選 抜	期 日
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和7年10月17日（金）
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	
私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	令和7年11月17日（月）
一 般 選 抜	令和8年 1月20日（火）

本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。なお、本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（072-978-3479 受付時間：平日9:00～17:00）  
メールアドレス sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

# 別表1 入学者選抜方法等

## (一般選抜)

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績、本学が行う教科・科目に係る個別テストの成績、調査書及び志願者本人が記載する書類等の内容を総合して行います。

日程				選抜方法等		教科・科目に係る個別テスト等				
	学部	課程	専攻	コース	教科・科目に係る個別テストを課す	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	志願者本人が記載する資料等	
前期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	×	×	○	×	▲(志望理由書)	
				小学校教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)	
			次世代教育専攻	教育探究コース	×	×	×	○	○(活動報告書) ▲(志望理由書)	
				ICT教育コース ※1	○	×	×	○	▲(志望理由書)	
			教科教育専攻	国語教育コース	○	×	○	×	▲(志望理由書)	
				英語教育コース	○	×	○	×	▲(志望理由書)	
				社会科教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)	
				数学教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)	
				理科教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)	
				技術教育コース	×	×	○	○	○(志望理由書)	
				家政教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)	
				保健体育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)	
				音楽教育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)	
			美術・書道教育コース ※2	×	○	○	×	▲(志望理由書)		
			特別支援教育専攻		×	×	×	○	▲(志望理由書)	
			小学校教育(夜間)5年専攻		×	×	○	×	▲(志望理由書)	
			養護教諭養成課程		×	×	×	○	▲(志望理由書)	
			教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
					環境安全科学コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
				教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
					スポーツ健康コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)
					芸術表現コース ※3	×	○	×	×	▲(志望理由書)
				グローバル教育専攻	日本語教育コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
国際協働英語コース	○	×			×	×	▲(志望理由書)			
後期日程	教育学部	学校教育教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	×	×	○	×	○(活動報告書) ▲(志望理由書)	
				ICT教育コース ※1	○	×	○	×	▲(志望理由書)	
			教科教育専攻	国語教育コース	×	×	○	○	▲(志望理由書)	
				数学教育コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)	
				技術教育コース	×	×	○	×	○(志望理由書)	
				家政教育コース	×	×	○	×	▲(志望理由書)	
				保健体育コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)	
			美術・書道教育コース ※2	×	○	×	×	▲(志望理由書)		
			特別支援教育専攻		×	×	○	○	▲(志望理由書)	
			小学校教育(夜間)5年専攻		×	×	○	×	▲(志望理由書)	
			養護教諭養成課程		×	×	○	×	▲(志望理由書)	
			教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	○	×	×	×	▲(志望理由書)
					環境安全科学コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
				教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	×	×	×	○	▲(志望理由書)
					スポーツ健康コース	×	○	×	×	▲(志望理由書)
			芸術表現コース ※3	×	○	×	×	▲(志望理由書)		

- ・○については、該当の選抜方法を実施します。(得点化を行います。)
- ・▲については、他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。(得点化は行いません。)
- ・×については、実施しません。
- ※1 ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状のパターンを出願時に選択します。
- ※2 美術・書道教育コースの実技検査は、選択する分野(美術・書道)によって異なります。
- ※3 芸術表現コースの実技検査は、選択する分野(音楽・美術)によって異なります。

## (特別選抜(学校推薦型選抜))

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)※)、本学が行う教科・科目に係る個別テスト等の成績、調査書及び志願者本人が記載する書類等の内容を総合して行います。

			選抜方法等	学校推薦型選抜						
				入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として選抜する						
				教科・科目に係る個別テスト等						
学部	課程	専攻	コース	大学入学共通テストを課す	大学入学共通テストを免除する	教科・科目に係る個別テスト	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	志願者本人が記載する資料等
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	○	×	×	○	○	×	▲(志望理由書)
			小学校教育コース(課す推薦)	○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
			小学校教育コース(課す推薦(特別枠))	○※	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
		次世代教育専攻	教育探究コース	○	×	×	×	○	×	○(活動報告書) ▲(志望理由書)
			教科教育専攻	国語教育コース	○	×	×	×	○	×
		英語教育コース		○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
		社会科教育コース		○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
		理科教育コース		○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
		技術教育コース		×	○	×	×	○	○	▲(志望理由書)
		家政教育コース		○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
	保健体育コース	○		×	×	○	○	×	○(競技成績に関する証明書) ▲(志望理由書)	
	音楽教育コース	○	×	×	○	×	×	▲(志望理由書)		
	美術・書道教育コース【美術分野】	○	×	×	○	○	×	▲(志望理由書)		
	特別支援教育専攻		○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)	
	教育協働学科	教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
		教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース	×	○	×	○	○	○	○(競技成績に関する証明書) ▲(志望理由書)
			芸術表現コース【音楽分野】	×	○	×	○	×	○	○(演奏能力・創作力に関する証明書) ▲(志望理由書)
		グローバル教育専攻	日本語教育コース	○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)
			国際協働英語コース	○	×	×	×	○	×	▲(志望理由書)

- ・○については、該当の選抜方法を実施します。(得点化を行います。)
  - ・▲については、他の出願書類と同様に総合判定の際の資料として活用します。(得点化は行いません。)
  - ・×については、実施しません。
- ※大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)については、面接及び提出書類の内容を総合判定のうえ、合格内定者を決定します。  
その後、大学入学共通テストにおいて、本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

## 別表2 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般選抜及び学校推薦型選抜で、大阪教育大学が課す令和8年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する教科・科目に係る個別テスト等は26～28頁のとおりです。(配点については29～32頁の別表3を参照してください。)

また、注意事項及び大学入学共通テストの本学での科目選択パターンについて23～25頁に記載していますので、必ず併せてご確認ください。

なお、令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、一般選抜においては教科・科目に係る個別テスト等の受験を認めません。共通テストを課す学校推薦型選抜においては選抜の対象としません。共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)においては最終合格者として決定しません。

また、教科・科目に係る個別テスト等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

### 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 教科・科目名は次のように略しています。

『国語』→『国』、『外国語』→『外』、『地理歴史』→『地歴』(公民はそのまま)、『数学』→『数』、『理科』→『理』、『情報』→『情』  
 『英語(リスニング含む)』→『英(リ)』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語』→『中』、『韓国語』→『韓』  
 『地理総合、地理探究』→『地総、地探』、『歴史総合、日本史探究』→『歴総、日探』、『歴史総合、世界史探究』→『歴総、世探』、  
 『地理総合/歴史総合/公共』→『地総/歴総/公』、『公共、倫理』→『公、倫』、『公共、政治・経済』→『公、政経』、  
 『数学Ⅰ、数学A』→『数Ⅰ、数A』、『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』→『数Ⅱ、数B、数C』、  
 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』→『物基/化基/生基/地基』、『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、  
 『地学』→『地』、『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

(※) 地理歴史と公民は独立した教科なので、それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

(※) 『地理総合/歴史総合/公共(地総/歴総/公)』は地歴と公民両方の範囲を含むため、それぞれの欄に記載しています。

そのため、公民の欄に記載する際は『地総/歴総/公(再掲)』としていますのでご注意ください。

なお、本学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについては、25頁をご確認ください。

(注2) 『地理総合/歴史総合/公共』は「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、地理歴史及び公民で2科目を選択する場合、選択できない組合せがあるため注意してください。(以下の注意書き及び下図参照)

・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

・『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合において、選択解答が可能な組合せは次のとおりとなるので注意してください。

『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ

『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ

『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、『地理総合/歴史総合/公共』では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

(解答順は順不同)	『地理総合、 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合、 世界史探究』	『公共、倫理』	『公共、政治・ 経済』	『地理総合/歴史総合/公共』		
						「地理総合」 と「歴史総合」	「地理総合」 と「公共」	「歴史総合」 と「公共」
『地理総合、 地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
『歴史総合、 日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
『歴史総合、 世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
『公共、倫理』	○	○	○		×	○	×	×
『公共、政治・ 経済』	○	○	○	×		○	×	×

(注3) 『数学Ⅱ、数学B、数学C』について、「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目を出題範囲とし、そのうち3項目を選択解答します。

(注4) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。

なお、理科で2科目を選択する場合のうち、『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』並びに『物理』、『化学』、『生物』及び『地学』から1科目を選択する場合において、「同一名称を含む科目の組合せ」を選択することはできません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。(選択できる組合せについては、下図を参照してください。)

(解答順は順不同)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』					
	「物理基礎」 と「化学基礎」	「物理基礎」 と「生物基礎」	「物理基礎」 と「地学基礎」	「化学基礎」 と「生物基礎」	「化学基礎」 と「地学基礎」	「生物基礎」 と「地学基礎」
『物理』	×	×	×	○	○	○
『化学』	×	○	○	×	×	○
『生物』	○	×	○	×	○	×
『地学』	○	○	×	○	×	×

(注5) 大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合、又は理科から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を用います。

(注6) 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者は除く。)

リスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。

また、英語以外の外国語を受験した場合は、筆記(200点満点)の成績をそのまま使用します。

(注7) 大学入学共通テストの情報は、100点満点を50点満点に換算した成績を用います。(29～32頁の別表3参照)

### 【教科・科目に係る個別テスト等】欄

(注8) 「活動報告書」とは、高校時代等に行った活動実績の概要を記載し、そこで身につけた能力、スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。

(注9) 「英文ライティング」とは、「和文英訳問題」と与えられたテーマに関して自分の意見を述べる「自由英作文」のことです。

(注10) 教科・科目に係る個別テストの英語は聴き取り試験を行いません。

(注11) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。
- ・「数学B」は「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

(注12) 理科の出題範囲は、次のとおりです。(試験開始後に下記から1つ選択解答します。)

- ・「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。
- ・「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。
- ・「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。
- ・「地学基礎・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。

(注13) 英語能力測定試験の詳細については、33頁の別表4を参照してください。

令和8年度大阪教育大学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについて

大学入学共通テストの利用教科・科目名			
科目パターン	教科	科目名等	
A (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2
		『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須
		『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2
理 情	『情Ⅰ』(注7)	必須	
(6教科8科目又は7教科8科目)			
B (文系)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から2
		『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須
		『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1
理 情	『情Ⅰ』(注7)	必須	
(6教科8科目又は7教科8科目)			
C (理系)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1
		『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須
		『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2
理 情	『情Ⅰ』(注7)	必須	
(6教科8科目)			
D (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1
		『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1
		『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1
理 情	『情Ⅰ』(注7)	必須	
(6教科6科目)			
E (文理)	国 外	『国』	必須
		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	
		『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	
		『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	
理 情	『情Ⅰ』(注7)	必須	
(4教科4科目)			

学部	課程・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名				日程	教科・科目に係る個別テスト等	
		パターン	教科	科目名等	教科等		科目名等	
教育学部	学校教育専攻 幼小教育専攻	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	面接
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す 推薦	その他	実技検査 面接		
	歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
	民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※			
	数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須					
	理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目又は7教科8科目)		
	情	『情Ⅰ』(注7)	必須					
	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2							
	小学校教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文
外			『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す 推薦	その他	面接			
歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目又は7教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
次世代教育専攻	教育探究コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文 活動報告書(注8)
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	共通テストを課す 推薦	その他	面接 活動報告書(注8)		
	歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目又は7教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
ICT教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注11) 小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す 推薦	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注11) 面接			
歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から2				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
国語教育コース								
教科教育専攻	英語教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	国 その他	現代の国語、言語文化、論理国語、 文学国語、国語表現、古典探究 面接
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から2	共通テストを課す 推薦	その他	小論文 面接		
	歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目又は7教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
英語教育コース								
社会科教育コース	B (文系)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から2	共通テストを課す 推薦	その他	面接		
	歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目又は7教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。(注13)								
数学教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注11) 物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地 から1(注12) (試験開始後に選択)	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す 推薦	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C(注11)			
歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から2				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
理科教育コース								
技術教育コース	C (理系)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文 面接 志望理由書	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	共通テストを課す 推薦	その他	面接 志望理由書		
	歴	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
民	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から2				
数	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
理	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から2	必須	『情Ⅰ』(注7)	(6教科8科目)			
情	『情Ⅰ』(注7)	必須						
技術教育コース								
					共通テストを課さない推薦	その他	小論文 面接	

学部	課程・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等		
		パターン	教科	科目名等	日程	教科等	科目名等	
教育学部 学校教育専攻 教員養成課程	家政教育コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文
	外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接		
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※					
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接		
	理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須					
	情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	『情Ⅰ』(注7)	必須			
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
保健体育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接 競技成績に関する証明書			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科6科目)								
音楽教育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科6科目)								
美術・書道教育コース	D (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査 面接	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	実技検査 面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	から1						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科6科目)								
※【美術分野】のみ共通テストを課す推薦を実施します。(【書道分野】は実施しません。)								
特別支援教育専攻	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	小論文 面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
小学校教育(夜間)5年専攻	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	面接	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								
養護教諭養成課程	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
外		『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1					
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	面接			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1又は2※						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	共通テストを課す推薦	その他	面接			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	から1又は2※	『情Ⅰ』(注7)	必須				
(6教科8科目又は7教科8科目)								
※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2								

学部	学科・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名				日程	教科・科目に係る個別テスト等	
		パターン	教科	科目名等	教科等		科目名等	
教育学部	教育イノベーション専攻 数理・知能情報コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注11)
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注11)		
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須		
	理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須					
	情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			
		『情Ⅰ』(注7)	必須					
	環境安全科学コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 から1(注12) (試験開始後に選択)
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	小論文		
	公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1					
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						
心理科学コース	A (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1又は2※	後期	その他	小論文			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(6教科8科目又は7教科8科目)	※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						
スポーツ健康コース	E (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(4教科4科目)	※英語能力測定試験の成績により教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点に得点加算します。(注13)				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						
						共通テストを課さない推薦	その他	小論文 実技検査 面接 競技成績に関する証明書
芸術表現コース	E (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	実技検査	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	その他	実技検査			
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(4教科4科目)	※【音楽分野】のみ共通テストを課さない推薦を実施します。(【美術分野】は実施しません。)				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						
						共通テストを課さない推薦	その他	小論文 実技検査 演奏能力・創作力に関する証明書
グローバル教育専攻	日本語教育コース	E (文理)	国	『国』	必須	前期	その他	小論文
			外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1			
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	共通テストを課す推薦	その他	面接		
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(4教科4科目)	※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点に得点加算します。(注13)				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						
国際協働英語コース	E (文理)	国	『国』	必須	前期	外	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ (聴き取り試験を含まない。)(注10)	
		外	『英(リ)』、『独』、『仏』、『中』、『韓』	から1				
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総/歴総/公』(注2)	から1	後期	共通テストを課す推薦	その他	面接		
公民	『公、倫』、『公、政経』、『地総/歴総/公(再掲)』(注2)	から1						
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1	必須	から1又は2※	必須			
理	『数Ⅱ、数B、数C』(注3)	必須						
情	『物基/化基/生基/地基』、『物』、『化』、『生』、『地』(注4)	必須	(4教科4科目)	※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点に得点加算します。(注13)				
	『情Ⅰ』(注7)	必須						

### 別表3 大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等

一般選抜及び学校推薦型選抜における令和8年度大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。次の表での「個別テスト等」は「教科・科目に係る個別テスト等」を指しています。（私費外国人留学生入試については私費外国人留学生募集要項を参照してください。）

学部	課程・専攻・コース	日程	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加算		
教育学部	学校教育専攻 学校教育教員養成課程	幼児教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250		
			個別テスト等										300			300			
		後期	後期日程は募集を行いません。																
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1450		
		個別テスト等										200	300			500			
		小学校教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250		
	個別テスト等													300	300				
	後期	後期日程は募集を行いません。																	
	共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1250			
	個別テスト等											300			300				
	共通テストを課す推薦(特別枠)	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	300			
	個別テスト等														950	300			
	次世代教育専攻	教育探究コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1310		
				個別テスト等								300				◎60	360		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1310		
			個別テスト等										300			◎60	360		
			共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1340		
			個別テスト等										300			◎90	390		
		ICT教育コース	①情報+小学校 ●	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等				300				300					600	
			後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50							950	1550	
				個別テスト等				200						400			600		
			②情報+中高数学 ●	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等				350				250					600	
後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50							950	1550				
	個別テスト等				400						200			600					
教科教育専攻	国語教育コース	前期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1550			
			個別テスト等										300			600			
		後期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1550			
			個別テスト等									300		300		600			
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1250			
		個別テスト等										300			300				
	英語教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400	50						1150	1550	最大30		
			個別テスト等					200							400				
		後期	後期日程は募集を行いません。																
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400	50						1150	1550	最大30		
		個別テスト等										400			400				
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	★400	200	100	200	50						1150	1500			
個別テスト等										350			350						
社会科教育コース	前期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1250				
		個別テスト等									300			300					
	後期	後期日程は募集を行いません。																	
	共通テストを課す推薦	共通テスト	200	★400	200	100	200	50						1150	1500				
	個別テスト等										350			350					
	共通テストを課す推薦	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1600				
個別テスト等				450	200								650						
後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50							950	1550				
	個別テスト等				600									600					

配点横に記号又は注釈が付してある場合は、31～32頁を確認してください。

学部	課程・専攻・コース	日程	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加點		
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	理科教育コース	前期	共通テスト	200	100	★400	200	200	50				1150	1750			
				個別テスト等				600								600			
			後期	後期日程は募集を行いません。															
		技術教育コース	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50							950	1450	
				個別テスト等							300		150		■50		500		
			後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1450		
	個別テスト等									450		■50		500					
	共通テストを課さない推薦	共通テスト							250		250			500	500				
	個別テスト等																		
	家政教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250			
			個別テスト等							300					300				
		後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550			
			個別テスト等									600			600				
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550			
		個別テスト等									600				600				
	保健体育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310			
			個別テスト等								560				560				
		後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1150			
			個別テスト等								400				400				
		共通テストを課す推薦	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310			
		個別テスト等								210	200	150			560				
	音楽教育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310			
			個別テスト等								560				560				
		後期	後期日程は募集を行いません。																
共通テストを課す推薦		共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310				
個別テスト等									560					560					
美術・書道教育コース		共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1300				
個別テスト等								350	200				550						
後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1300					
個別テスト等								550					550						
共通テストを課す推薦【美術分野】	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1450					
個別テスト等								500	200				700						
特別支援教育専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250				
		個別テスト等							300					300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400				
		個別テスト等							300		150			450					
	共通テストを課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250				
	個別テスト等									300				300					
小学校教育（夜間）5年専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250				
		個別テスト等								300				300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400				
		個別テスト等								450				450					
養護教諭養成課程	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250				
		個別テスト等							300					300					
	後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250				
		個別テスト等									300			300					

配点横に記号又は注釈が付してある場合は、31～32頁を確認してください。

学部	学科・専攻・コース		日程	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点	
教育学部	教育協働学科	数理・知能情報コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550		
				個別テスト等			600									600			
		後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50								950	1550	
			個別テスト等			600									600				
		環境安全科学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1550	
				個別テスト等			600									600			
	後期		共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1550		
	個別テスト等			600				600					600						
	共通テストを 課す推薦	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1550			
	教育コミュニケーション 支援専攻	心理学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400		
				個別テスト等							450					450			
		後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50							950	1600		
			個別テスト等							650					650				
		スポーツ健康コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050	
				個別テスト等									500			500			
	後期		共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
	個別テスト等									500			500						
	共通テストを 課さない推薦	個別テスト等								100	200	100	100		500	500	最大 50		
	芸術表現コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
			個別テスト等									500			500				
		後期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50							550	1050		
			個別テスト等									500			500				
	共通テストを 課さない推薦 【音楽分野】	個別テスト等								150	250		100		500	500			
	グローバル 教育専攻	日本語教育コース	前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	200	50						550	850		
個別テスト等											300				300				
後期			後期日程は募集を行いません。																
国際協働英語コース		前期	共通テスト	200	*100	*100	*100	★400	50							750	1050	最大 60	
			個別テスト等						300						300				
		後期	後期日程は募集を行いません。																
共通テストを 課す推薦	共通テスト	200	*100	*100	*100	★400	50							750	1050	最大 100			
個別テスト等												300		300					

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。（選択できる科目数については23～28頁の別表2を参照してください。）

\*印は、選択教科を表しています。（選択教科については23～28頁の別表2を参照してください。）

★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については32頁を参照してください。）

◎印は、活動報告書を表しています。

■印は、志望理由書を表しています。

◆印は、令和8年度大学入学共通テストにおいて大学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

●印について、ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状のパターンを出願時に選択します。

（11頁1（4）を参照してください。）

## 傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。

また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま利用します。（ただし、英語教育コース及び国際協働英語コースは400点満点に換算します。）

その他、29～31頁の別表3で、大学入学共通テストの1つ又は2つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は下表のとおりです。

なお、傾斜配点により端数が生じた場合は、四捨五入を行います。

課程・学科・専攻・コース	日程等	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	共通テスト 配点合計
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	前期	外国語	200	2	400	1150
	共通テストを 課す推薦					
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	共通テストを 課す推薦	地理歴史 及び公民（注）	200	2	400	1150
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	前期	数学	200	2	400	1150
	共通テストを 課す推薦	理科	200	2	400	1150
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	前期	外国語	200	2	400	750
	共通テストを 課す推薦					

（注）地理歴史及び公民から合わせて2科目。（23～28頁の別表2を参照してください。）

## 別表4 英語能力測定試験の成績利用

教科教育専攻英語教育コース、グローバル教育専攻国際協働英語コースの学校推薦型選抜・一般選抜（前期日程）及び教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コースの学校推薦型選抜において、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、所定の点数を加算することができます。なお、本学指定の提出書類（成績証明書など）は、学生募集要項にてご確認ください。

1. 教科教育専攻英語教育コースの学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程）において、本学が定める次の英語能力測定試験の等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算します。

共通テストへの得点加算	実用英語技能検定（英検） *	TOEFL iBT®	IELTS **	TOEIC®（L&R）	GTEC CBTタイプ /GTEC 検定版 2022年度以前受検 ***	GTEC CBTタイプ /GTEC 検定版 2023年度以降受検 ***
30点	準1級以上	80以上	6.0以上	730以上	1190以上	1180以上
15点	2級	65以上	5.0以上	600以上	1070以上	1060以上

\*英検は従来型の英検に加えて、英検S-CBT、英検CBT、英検S-Interviewを対象とします。

\*\*「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

\*\*\*「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

また、GTECの受検年度で加点対象の成績の条件が異なるため、注意してください。

（注）高等学校入学以降に受検した英語能力測定試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

2. グローバル教育専攻国際協働英語コースの学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程）において、本学が定める次の英語能力測定試験の等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算します。

合計点への得点加算		実用英語技能検定（英検） *	TOEFL iBT®	IELTS **	GTEC CBTタイプ /GTEC 検定版 ***
学校推薦型選抜	一般選抜（前期日程）				
100点	60点	準1級以上	72以上	6.0以上	1200以上
40点	20点	—	65以上	5.5以上	1110以上
20点	10点	—	60以上	4.5以上	1010以上

\*英検は従来型の英検に加えて、英検S-CBT、英検CBT、英検S-Interviewを対象とします。

\*\*「IELTS」はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

\*\*\*「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

（注）高等学校入学以降に受検した英語能力測定試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

3. 教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コースの学校推薦型選抜において、本学が定める次の英語能力測定試験の等級又はスコアを取得している場合は、教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算します。

学校推薦型選抜 合計点への 得点加算	実用英語技能検定（英検） *	TOEFL iBT®	IELTS **	TOEIC®（L&R）	GTEC CBTタイプ /GTEC 検定版 ***
50点	準1級以上	72以上	5.5以上	785以上	1180以上
30点	2級	60以上	4.5以上	550以上	1000以上
20点	準2級プラス 準2級	55以上	3.5以上	400以上	720以上
10点	3級	40以上	3.0以上	365以上	620以上

\*英検は従来型の英検に加えて、英検S-CBT、英検CBT、英検S-Interviewを対象とします。

\*\*「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

\*\*\*「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

（注）高等学校入学以降に受検した英語能力測定試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

## 別表5 小論文、面接及び実技検査の実施内容

### (1) 小論文

#### 教員養成課程

課程・専攻・コース		内 容
推薦	学校教育教員養成課程 教科教育専攻技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心をみるために、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻小学校教育コース	提示された資料に基づいて、理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために、小論文形式で筆答させる。
前期	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻教育探究コース	提示された課題に関する論述をとおして、思考力・洞察力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻ICT教育コース	情報技術やICT教育に関する課題に対し、理解力・洞察力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻社会科教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために、社会科教育に関わる広範な視野に立つ複数の課題を提示し、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心をみるために理科（物理基礎・物理の範囲）の学力を必要とする課題に対し、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻家政教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために、生活に関する広範な視野に立つ複数の課題を与え、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	提示された複数の課題に関する論述をとおして、理解力・思考力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。
	養護教諭養成課程	複数の課題を与え、理解力・思考力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。
後期	学校教育教員養成課程 教科教育専攻国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力を測るために、小論文形式で筆答させる。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	与えられた課題に基づいて、特別支援教育に関する理解力をみるために、小論文形式で筆答させる。

#### 教育協働学科

専攻・コース		内 容
推薦	教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。
前期	教育コミュニティ支援専攻 心理科学コース	人間と社会に関連する資料や論文を読解し、要点を的確に把握し、設問に応じて思考を論理的に表現する力を総合的にみるために、小論文形式で筆答させる。
	グローバル教育専攻 日本語教育コース	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する知識と理解力を問い、さらに表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。
後期	教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	自然科学や生活科学、安全科学に関する資料を用いてその理解と認識、および考え方を見るために、小論文形式で筆答させる。
	教育コミュニティ支援専攻 心理科学コース	人間と社会に関連する資料や論文を手がかりとし、題意に即して論点を整理し論述する力をみるために、小論文形式で筆答させる。

(2) 面接（口述試験を含む。）

教員養成課程

課程・専攻・コース	内 容	
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻幼児教育コース	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる内容を問う。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻小学校教育コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻小学校教育コース （課す推薦特別枠）	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻教育探究コース	学校教育のさまざまな現代的課題への強い関心と、教育科学に関わる学際的な知識をもとに学校教育のあり方を探究しようとする意欲、ならびに、将来、学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	
学校教育教員養成課程 教科教育専攻国語教育コース	将来、国語科分野の小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	
学校教育教員養成課程 教科教育専攻英語教育コース	将来、小学校、中学校、高等学校の英語教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する問題意識・関心度及び英語運用能力をみる内容。	
推 薦	学校教育教員養成課程 教科教育専攻社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。くわえて、数学・理科（数学Ⅰ、数学Ⅱ、物理基礎の範囲）に関する口述試験を行う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員にふさわしい資質をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻保健体育コース	将来、小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質と美術に関する知識・関心・理解度をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心、また将来、特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。

## 教員養成課程

	課程・専攻・コース	内 容
前期	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻幼児教育コース	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる内容を問う。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力、思考力ならびに音声コミュニケーション力をみるために面接形式で行う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻英語教育コース	英語の知識と技能及び日本語・英語での思考力・判断力・表現力を問う内容。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース	<美術実技選択者> 美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。 <書道実技選択者> 書写・書道教育に関する理解と認識及び思考力・表現力・判断力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。
後期	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻教育探究コース	学校教育のさまざまな現代的課題への強い関心と、教育科学に関わる学際的な知識をもとに学校教育のあり方を探究しようとする意欲、ならびに、将来、学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻ICT教育コース	情報技術やICT教育に関する理解と関心及び思考力・表現力、教職に就く強い意欲をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）及び国語教育に関する理解と認識及び思考力、表現力、判断力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。くわえて、数学・理科（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C・物理基礎・物理の範囲）に関する口述試験を行うことがある。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻家政教育コース	家庭科に関する理解と関心及び思考力、表現力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育に関する理解と認識及び思考力、表現力をみる内容を問う。
	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。
	養護教諭養成課程	養護への関心ならびに健康問題に関する理解及び思考力、表現力、応用力を総合的にみる内容を問う。

## 教育協働学科

	専攻・コース	内 容
推薦	教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	自然科学、生活科学、安全科学に関する知識と理解力、関心度をみる内容を問う。
	教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解・関心度と、それに対する表現力をみる内容を問う。
	グローバル教育専攻 日本語教育コース	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する問題意識、知識や理解力、自らの意見を的確に表現する力をみる内容を問う。
	グローバル教育専攻 国際協働英語コース	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる内容を問う。

(3) 実技検査

教員養成課程

【学校推薦型選抜】

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	<p>次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. ピアノ                      任意のピアノ演奏用独奏曲（バロックから近現代まで）を1曲演奏する。                      (注) 1. ピアノ演奏用独奏曲とは、ピアノのために作曲された独奏曲である。                      2. 上記の曲は、楽譜が刊行されている曲に限る。                      3. 他の楽器のために作られた曲、簡易楽譜に編曲された曲は認めない。                      4. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、演奏の途中で中止させる場合がある。                      5. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p> <p>Ⅱ. 歌 唱                      次の5曲から任意の1曲を歌う。                      1) アイスクリームのうた（作詞：佐藤義美 作曲：服部公一）                      2) マーチング・マーチ（作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一）                      3) びわ（作詞：まどみちお 作曲：磯部俣）                      4) 小さい秋みつけた（作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直）                      5) めえめえ児山羊（作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世）                      (注) 1. 暗譜で歌うこと。                      2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。                      3. 歌唱の途中で中止させる場合がある。                      4. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜（移調して歌う場合は、移調した楽譜）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u></p>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	<p>保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト</p> <p>A. 体づくり運動は全員が行う。                      B～Dの中から2つを出願時に選択すること。                      出願後の変更は認めない。</p> <p>A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。                      B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）                      C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）                      D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。）</p> <p>(1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダンス                      (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道                      (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道                      (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳）                      (5) バレーボール (11) バドミントン                      (6) ハンドボール (12) 体操競技</p>

(教員養成課程・学校推薦型選抜 次頁へ続く)

<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース</p>	<p>次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 歌 曲 次の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Caro mio ben                    G. Giordani                    (F, Es, D, C-Dur) 2) Sogno                                F. P. Tosti                      (As, B-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. <u>上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜(正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの)に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> 3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>Ⅱ. ピアノ 次の1)、2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章(ただし緩徐楽章は除く。) 2) ロマン派又は近現代の曲(ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。)</p> <p>(注) 1. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>Ⅲ. 楽 典                    (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容</p>
<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】</p>	<p>次の検査を実施する。 鉛筆による静物デッサン</p> <p>(注) 1 鉛筆、消しゴム(ねり消しゴムを含む。)、羽根ボウキは使用可(各自持参すること)。それ以外の道具は使用不可とする。 2 カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。 3 鉛筆の硬度は問わない。</p>

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース</p>	<p>次のⅠ、Ⅱの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次の 1)～16)の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <p>1) 陸上競技 次の種目の中から1種目を選択し、試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。 男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>2) バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. 2対1又は3対2 3. 速攻 4. ゲーム</p> <p>3) サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 &lt;フィールドプレーヤー&gt; 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム &lt;ゴールキーパー&gt; 1. ゴールキーピング(キャッチング、ポジショニング、セービング) (フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っていく。)  2. キックの技能</p> <p>4) ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. パス 5. タッチフット</p> <p>5) バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム</p> <p>6) ハンドボール コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 &lt;コートプレーヤー&gt; 1. シュート 2. 1対1の攻撃 3. ゲーム（3対3） 4. 遠投</p>

学校教育教員養成課程  
教科教育専攻  
保健体育コース

- <ゴールキーパー>
1. シュートセーブ
  2. ゲーム (3対3)
  3. 遠投
- 7) 卓球  
ゲーム (シングルス)
- 8) 硬式テニス  
ゲーム (シングルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 9) ソフトテニス  
ゲーム (ダブルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 10) 硬式野球
1. バッティング
  2. 走塁 (ベースランニング)
  3. 3-1. 野手 又は 3-2. 投手 を選択して検査を行う。  
3-1. 野手 (各自のポジションでの守備)  
3-2. 投手 (ピッチング)  
雨天時は、3-1. 野手 (各自のポジションでの守備) の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
- 11) バドミントン  
ゲーム (シングルス)
- 12) 体操競技  
男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。  
女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
- 13) ダンス
1. 基礎的身体運動：示範の動き (伴奏付き) を練習後に実施。
  2. 短いフレーズの創作 (現代的なリズム)：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。
  3. 課題による創作：課題 (伴奏付き) を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。
- 14) 柔 道
1. 受身
  2. 立技
  3. 寝技
  4. 乱取
- 15) 剣 道
1. 切り返し
  2. 応じ技
  3. 互角稽古・試合稽古
- 16) 水泳競技 (競泳)
- 次の種目の中から1種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。  
50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

II. 選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト

次の表を参考にしてA～Jの中から出願時に1種目選択(但しJはJ1又はJ2から1種目を選択)すること。出願後の変更は認めない。なお、「○」は選択できる種目、「×」は選択できない種目である。

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

II 選択実技検査		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
		陸上競技	バスケットボール	サッカー	バレーボール	ソフトボール	バドミントン	器械運動	柔道	剣道	体づくり	1 ラジオ体操及びみんなの体操
I 専門実技検査												
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	硬式テニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
9	ソフトテニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
10	硬式野球	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
11	バドミントン	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
16	水泳競技(競泳)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

A 陸上競技

次の走、投てきについて試技を行い、記録を測定する。

1. 50mハードル走
2. 槍投げ(ジャベリック)

B バスケットボール

1. 各種シュート(ランニングシュート、ジャンプシュート)
2. ドリブル
3. ゲーム

C サッカー

1. ボールコントロール(キックを含む。)
2. 各種シュート
3. ゲーム

D バレーボール

1. パス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)
2. 対人レシーブ
3. ラリー(1人で3段攻撃を行う)

学校教育教員養成課程  
教科教育専攻  
保健体育コース

<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース</p>	<p>E ソフトボール 1. キャッチボール (全員) 2. 遠投 (全員) 3. バッティング又はピッチング (選択)</p> <p>F バドミントン 1. シャトルのピックアップ 2. 各種ショット</p> <p>G 器械運動 マット運動について、当日指定された技を実施する。</p> <p>H 柔道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技</p> <p>I 剣道 1. 基本動作 (素振り) 2. 基本打突 3. 基本となる技 (注) 小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能</p> <p>J 体づくり (J 1、J 2の中から1種目を選択) J 1 ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。 J 2 メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い、決められたところから両手で横投げする。</p>
<p>学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース</p>	<p>次の I ~ III の検査を実施する。</p> <p>I. 歌 曲 次の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Caro mio ben                      G. Giordani                      (F, Es, D, C-Dur) 2) Sogno                                  F. P. Tosti                      (As, B-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. <u>上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜 (正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの) に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> 3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>II. ピアノ 次の1)、2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章 (ただし緩徐楽章は除く。) 2) ロマン派又は近現代の曲 (ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。)</p> <p>(注) 1. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>III. 楽 典                      (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽 I 程度の内容</p>

学校教育教員養成課程  
教科教育専攻  
美術・書道教育コース

<美術実技選択者>

鉛筆による静物デッサン

- (注) 1 鉛筆、消しゴム(ねり消しゴムを含む。)、羽根ボウキは使用可(各自持参すること)。それ以外の道具は使用不可とする。  
2 カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。  
3 鉛筆の硬度は問わない。

<書道実技選択者>

次の検査を実施する。

1) 臨書(半紙)

- ①楷書「九成宮醜泉銘」      ②行書「集字聖教序」      ③草書「書譜」  
④仮名「高野切第三種」

2) 筆記テスト(書道Ⅰ、書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。)

- (注) 1 硯、墨、筆(大・小)、水差し、無地の下敷き、文鎮、筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。  
2 半紙は本学で準備する。

[注] 実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。  
美術実技を選択した者から12人程度、書道実技を選択した者から5人程度

## 【後期日程】

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	<p>次の検査を実施する。</p> <p>専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト            次の 1)～16)の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <p>1) 陸上競技            次の種目の中から1種目を選択し、試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。            天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。</p> <p>男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投            女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>2) バスケットボール            1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）            2. 2対1又は3対2            3. 速攻            4. ゲーム</p> <p>3) サッカー            フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。            &lt;フィールドプレーヤー&gt;            1. 短距離走            2. 各種シュート            3. ゲーム            &lt;ゴールキーパー&gt;            1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング）            （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っていく。）            2. キックの技能</p> <p>4) ラグビーフットボール            1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール）            2. ヒット（コンタクト）            3. タックル            4. パス            5. タッチフット</p> <p>5) バレーボール            1. 最高到達点            2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）            3. 対人レシーブ            4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）            5. ゲーム</p> <p>6) ハンドボール            コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。            &lt;コートプレーヤー&gt;            1. シュート            2. 1対1の攻撃            3. ゲーム（3対3）            4. 遠投</p>

（教員養成課程・後期日程 次頁へ続く）

学校教育教員養成課程  
教科教育専攻  
保健体育コース

- <ゴールキーパー>
1. シュートセーブ
  2. ゲーム (3対3)
  3. 遠投
- 7) 卓球  
ゲーム (シングルス)
- 8) 硬式テニス  
ゲーム (シングルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 9) ソフトテニス  
ゲーム (ダブルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 10) 硬式野球
1. バッティング
  2. 走塁 (ベースランニング)
  3. 3-1. 野手 又は 3-2. 投手 を選択して検査を行う。  
3-1. 野手 (各自のポジションでの守備)  
3-2. 投手 (ピッチング)  
雨天時は、3-1. 野手 (各自のポジションでの守備) の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
- 11) バドミントン  
ゲーム (シングルス)
- 12) 体操競技  
男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。  
女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
- 13) ダンス
1. 基礎的身体運動：示範の動き (伴奏付き) を練習後に実施。
  2. 短いフレーズの創作 (現代的なリズム)：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。
  3. 課題による創作：課題 (伴奏付き) を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。
- 14) 柔 道
1. 受身
  2. 立技
  3. 寝技
  4. 乱取
- 15) 剣 道
1. 切り返し
  2. 応じ技
  3. 互角稽古・試合稽古
- 16) 水泳競技 (競泳)
- 次の種目の中から1種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。  
50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース	<p>&lt;美術実技選択者&gt;</p> <p>次の検査を実施する。 図版などで、美術作品や児童生徒作品などを鑑賞し、そこから感じたこと・読み取ったことなどを800字以内で記述する。 (注) 筆記用具は持参すること。作品又は作品図版、その他解答に必要なものは、本学で用意する。</p> <p>&lt;書道実技選択者&gt;</p> <p>次の検査を実施する。</p> <p>1) 臨書(半紙) ①楷書「九成宮醴泉銘」      ②行書「集字聖教序」      ③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」</p> <p>2) 筆記テスト(書道Ⅰ、書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。) (注) 1 硯、墨、筆(大・小)、水差し、無地の下敷き、文鎮、筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 2 半紙は本学で準備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>[注] 実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 美術実技を選択した者から3人程度、書道実技を選択した者から2人程度</p></div>
------------------------------------	---

【学校推薦型選抜】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
<p>教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース</p>	<p>次の 1)～8)の競技種目の中から選択した 1 種目について、運動技能に関する実技検査を行う。なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 陸上競技                出願した当該種目について、試合に準じた形式で試技を行う。</li> <li>2) バスケットボール               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）</li> <li>2. 2対1又は3対2</li> <li>3. 速攻</li> <li>4. ゲーム</li> </ol> </li> <li>3) サッカー                フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。                &lt;フィールドプレーヤー&gt;               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボールコントロール</li> <li>2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート）</li> <li>3. ゲーム</li> </ol>               &lt;ゴールキーパー&gt;               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能をフィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っていく。）</li> </ol> </li> <li>4) バレーボール               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）</li> <li>2. 対人レシーブ</li> <li>3. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）</li> <li>4. ゲーム</li> </ol> </li> <li>5) 硬式テニス               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストローク、ボレー、サービス、リターンの試技</li> <li>2. ゲーム（シングルス）</li> </ol> </li> <li>6) 体操競技                男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。                女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。</li> <li>7) 柔道               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受身</li> <li>2. 立技</li> <li>3. 寝技</li> <li>4. 乱取</li> </ol> </li> <li>8) 剣道               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 切り返し</li> <li>2. 応じ技</li> <li>3. 互角稽古・試合稽古</li> </ol> </li> </ol>

（教育協働学科・学校推薦型選抜 次頁へ続く）

【専 門】 志望専門別に受験すること。

A 声 楽

自由曲 2曲

- (注) 1 歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。  
2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。  
3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。  
4 **伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。**ただし、  
1 ページの大きさはB5判(縦257mm×横182mm)とし、志願者氏名を明記の上、  
出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。  
5 伴奏者は本学で配置する。

B 器 楽

楽器別により、それぞれ指定(ア、イ)されたものを演奏する。

(注) **自由曲について、作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。**

a ピアノ

ア、イの順に暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。**使用する楽譜の版は指定しない。**

ア L.v.Beethoven: ピアノソナタより任意の1曲を選択し、第1楽章を演奏すること。ただし、Op.49-1、Op.49-2、Op.79を除く。

また、Op.27-1、Op.101、Op.109を選択した場合は、第1、2楽章を演奏すること。  
Op.27-2を選択した場合は第3楽章を演奏すること。

イ 自由曲 次の作曲者の作品より任意の1曲(ソナタの場合は1つの楽章)

- 1) R.Schumann 2) F.Liszt 3) F.Chopin 4) J.Brahms 5) F.Mendelssohn

b フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーンから1つ選択  
次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。

ア 長調の音階及び半音階(調及びアーティキュレーションは当日指定)

イ 自由曲 1曲

c トランペット、ホルン、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、  
チューバから1つ選択

次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。

ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音(調は当日指定)



イ 自由曲 1曲

d 打楽器

次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。

ア 小太鼓の基本奏法

1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち

(緩→急→緩 等、当日指定)、ロール(<、>、< > 等、当日指定)

イ 小太鼓、マリンバのいずれかを用いた自由曲 1曲

(注) マリンバ(5オクターブ半)、小太鼓、スタンド、バチ置きは貸出し可能

教育コミュニティ支援専攻  
芸術表現コース  
【音楽分野】

【前期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
<p>教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース</p>	<p>次のⅠ、Ⅱの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト</p> <p>次の 1)～16)の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <p>1) 陸上競技</p> <p>次の種目の中から1種目を選択し、試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。</p> <p>男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>2) バスケットボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）</li> <li>2. 2対1又は3対2</li> <li>3. 速攻</li> <li>4. ゲーム</li> </ol> <p>3) サッカー</p> <p>フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。</p> <p>&lt;フィールドプレーヤー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短距離走</li> <li>2. 各種シュート</li> <li>3. ゲーム</li> </ol> <p>&lt;ゴールキーパー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。）</li> <li>2. キックの技能</li> </ol> <p>4) ラグビーフットボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール）</li> <li>2. ヒット（コンタクト）</li> <li>3. タックル</li> <li>4. パス</li> <li>5. タッチフット</li> </ol> <p>5) バレーボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高到達点</li> <li>2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）</li> <li>3. 対人レシーブ</li> <li>4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）</li> <li>5. ゲーム</li> </ol> <p>6) ハンドボール</p> <p>コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。</p> <p>&lt;コートプレーヤー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シュート</li> <li>2. 1対1の攻撃</li> <li>3. ゲーム（3対3）</li> <li>4. 遠投</li> </ol> <p>&lt;ゴールキーパー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シュートセーブ</li> <li>2. ゲーム（3対3）</li> <li>3. 遠投</li> </ol>

教育コミュニティ支援専攻  
スポーツ健康コース

- 7) 卓球  
ゲーム (シングルス)
- 8) 硬式テニス  
ゲーム (シングルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 9) ソフトテニス  
ゲーム (ダブルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 10) 硬式野球  
1. バッティング  
2. 走塁 (ベースランニング)  
3. 3-1. 野手 又は 3-2. 投手 を選択して検査を行う。  
3-1. 野手 (各自のポジションでの守備)  
3-2. 投手 (ピッチング)  
雨天時は、3-1. 野手 (各自のポジションでの守備) の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
- 11) バドミントン  
ゲーム (シングルス)
- 12) 体操競技  
男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。  
女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
- 13) ダンス  
1. 基礎的身体運動：示範の動き (伴奏付き) を練習後に実施。  
2. 短いフレーズの創作 (現代的なリズム)：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。  
3. 課題による創作：課題 (伴奏付き) を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。
- 14) 柔 道  
1. 受身  
2. 立技  
3. 寝技  
4. 乱取
- 15) 剣 道  
1. 切り返し  
2. 応じ技  
3. 互角稽古・試合稽古
- 16) 水泳競技 (競泳)  
次の種目の中から 1 種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。  
50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

II. 選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト

次の表を参考にしてA～Jの中から出願時に1種目選択(但しJはJ1又はJ2から1種目を選択)すること。出願後の変更は認めない。なお、「○」は選択できる種目、「×」は選択できない種目である。

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

II 選択実技検査		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
		陸上競技	バスケットボール	サッカー	バレーボール	ソフトボール	バドミントン	器械運動	柔道	剣道	体づくり	1 ラジオ体操及びみんなの体操
I 専門実技検査												
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	硬式テニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
9	ソフトテニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
10	硬式野球	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
11	バドミントン	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
16	水泳競技(競泳)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

A 陸上競技

次の走、投てきについて試技を行い、記録を測定する。

1. 50mハードル走
2. 槍投げ(ジャベリック)

B バスケットボール

1. 各種シュート(ランニングシュート、ジャンプシュート)
2. ドリブル
3. ゲーム

C サッカー

1. ボールコントロール(キックを含む。)
2. 各種シュート
3. ゲーム

D バレーボール

1. パス(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)
2. 対人レシーブ
3. ラリー(1人で3段攻撃を行う)

教育コミュニティ支援専攻  
スポーツ健康コース

<p>教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース</p>	<p>E ソフトボール 1. キャッチボール (全員) 2. 遠投 (全員) 3. バッティング又はピッチング (選択)</p> <p>F バドミントン 1. シャトルのピックアップ 2. 各種ショット</p> <p>G 器械運動 マット運動について、当日指定された技を実施する。</p> <p>H 柔道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技</p> <p>I 剣道 1. 基本動作 (素振り) 2. 基本打突 3. 基本となる技 (注) 小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能</p> <p>J 体づくり (J 1、J 2の中から1種目を選択) J 1 ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。 J 2 メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い、決められたところから両手で横投げする。</p>																																																									
<p>教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】</p>	<p>&lt;音楽実技選択者&gt; 【専門】 志望専門別に受験すること。 志望専門別検査科目表</p> <table border="1" data-bbox="574 1108 1157 1422"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検査科目</th> <th rowspan="2">志望専門</th> <th colspan="2">器楽</th> </tr> <tr> <th>声楽</th> <th>ピアノ</th> <th>管・打楽器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声楽</td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピアノ</td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管・打楽器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>聴音</td> <td></td> <td>D</td> <td>D</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>ピアノ</td> <td></td> <td>E</td> <td>(E)</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>楽典</td> <td></td> <td>F</td> <td>F</td> <td>F</td> </tr> </tbody> </table> <p>A 声楽 ア 課題曲 次の10曲から任意の2曲を選び、その中から当日指定された1曲を暗譜で歌う。</p> <table data-bbox="430 1523 1117 1904"> <tr> <td>1) Star vicino</td> <td>S. Rosa</td> </tr> <tr> <td>2) Sento nel core</td> <td>A. Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>3) Son tutta duolo</td> <td>A. Scarlatti</td> </tr> <tr> <td>4) Caro laccio</td> <td>F. Gasparini</td> </tr> <tr> <td>5) Lasciar d'amarti</td> <td>F. Gasparini</td> </tr> <tr> <td>6) Sebben, crudele</td> <td>A. Caldara</td> </tr> <tr> <td>7) Se tu m'ami</td> <td>G. B. Pergolesi</td> </tr> <tr> <td>8) An die Musik</td> <td>F. P. Schubert</td> </tr> <tr> <td>9) Die Lotosblume</td> <td>R. A. Schumann</td> </tr> <tr> <td>10) Wiegenlied</td> <td>J. Brahms</td> </tr> </table>	検査科目	志望専門	器楽		声楽	ピアノ	管・打楽器	声楽		A			ピアノ			B		管・打楽器				C	聴音		D	D	D	ピアノ		E	(E)	E	楽典		F	F	F	1) Star vicino	S. Rosa	2) Sento nel core	A. Scarlatti	3) Son tutta duolo	A. Scarlatti	4) Caro laccio	F. Gasparini	5) Lasciar d'amarti	F. Gasparini	6) Sebben, crudele	A. Caldara	7) Se tu m'ami	G. B. Pergolesi	8) An die Musik	F. P. Schubert	9) Die Lotosblume	R. A. Schumann	10) Wiegenlied	J. Brahms
検査科目	志望専門			器楽																																																						
		声楽	ピアノ	管・打楽器																																																						
声楽		A																																																								
ピアノ			B																																																							
管・打楽器				C																																																						
聴音		D	D	D																																																						
ピアノ		E	(E)	E																																																						
楽典		F	F	F																																																						
1) Star vicino	S. Rosa																																																									
2) Sento nel core	A. Scarlatti																																																									
3) Son tutta duolo	A. Scarlatti																																																									
4) Caro laccio	F. Gasparini																																																									
5) Lasciar d'amarti	F. Gasparini																																																									
6) Sebben, crudele	A. Caldara																																																									
7) Se tu m'ami	G. B. Pergolesi																																																									
8) An die Musik	F. P. Schubert																																																									
9) Die Lotosblume	R. A. Schumann																																																									
10) Wiegenlied	J. Brahms																																																									

イ 自由曲

課題曲1)~10) 以外で、4分以内に演奏できる任意の1曲を暗譜で歌う。

- (注) 1 歌詞は原語で歌うこと。  
2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。  
3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。  
4 課題曲・自由曲ともに伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。ただし、1ページの大きさはB5判(縦257mm×横182mm)とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。  
5 伴奏者は本学で配置する。

B ピアノ

ア、イの順に暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定しない。

ア L.v.Beethoven: ピアノソナタより任意の1曲を選択し、第1楽章を演奏すること。  
ただし、Op.49-1、Op.49-2、Op.79を除く。

また、Op.27-1、Op.101、Op.109を選択した場合は、第1、2楽章を演奏すること。  
Op.27-2を選択した場合は第3楽章を演奏すること。

イ 自由曲 1曲

(注) イ 自由曲の作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

C 管・打楽器

楽器別により、それぞれ指定(ア、イ、ウ)されたものを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。また、楽譜について指定のあるものは、その版を用いること。

a フルート

ア 長調の音階及び半音階(調及びアーティキュレーションは当日指定)

イ A.B.Furstenau: BOUQUET DES TONS Op.125 (Alphonse Leduc版) より No.5  
K.J.Andersen: 24 studies Op.21 (Schirmer版) より No.4、10  
以上の3曲の中から当日指定

ウ W.A.Mozart: Flute Concerto No.1 G-dur K.313、No.2 D-dur K.314の中から任意の1曲の第1楽章(カデンツァは省略)

b オーボエ

ア フルートのアに同じ。

イ J.H.Luft: 24 Etüden より No.4、15の中から当日指定

ウ J.Haydn: Oboe Konzert C-dur (Breitkopf版) 第1楽章

c クラリネット

ア フルートのアに同じ。

イ C.Rose: 32 Etudes (Alphonse Leduc版) より任意の1曲

ウ C.M.Weber: Concertino Es-dur Op.26

d ファゴット

ア フルートのアに同じ。

イ J.Weissenborn: Fagott Studien Op.8 Heft II より No.2、3、10の中から当日指定

ウ G.P.Teleman: SONATA in f for Bassoon & Continuo より 第1楽章、第2楽章

e サクソフォーン

ア フルートのアに同じ。

イ W.Ferling: 48 Etudes pour tous les saxophone (Alphonse Leduc版) No.1~24より任意の奇数番号1曲と偶数番号1曲の計2曲

ウ A.Grazounov: Concerto en mi bemol (Alphonse Leduc版) 冒頭から練習番号第16番まで

f トランペット

ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音(調は当日指定)



イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet  
No.1~34 の中から当日指定

ウ 次の1)、2)、3) のいずれか1曲を選択。

- 1) G.ALARY : MORCEAU DE CONCOURS (ALPHONSE LEDUC版)
- 2) P.GAUBERT : CANTABILE ET SCHERZETTO (ALPHONSE LEDUC版)
- 3) G.HÜE : 1<sup>er</sup> SOLO DE CORNET A PISTONS (ALPHONSE LEDUC版)

g ホルン

ア トランペットのAに同じ。

イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for French Horn  
No.8、12、13、15、16、19、20、21、22、23 の中から当日指定

ウ W.A.Mozart : Horn Concerto No.3 Es-dur K.447 第1楽章 (カデンツァは省略)

h トロンボーン

ア トランペットのAに同じ。

イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone  
No.7、11、12、13、14、15、19、21、25、27 の中から当日指定

ウ J.E.Galliard : Six Sonatas No.1 (International版)

i バス・トロンボーン

ア トランペットのAに同じ。

イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone  
No.3、5、7、8、11、12、18、19、20、21 の中から当日指定  
(ただし No.7、8、12は1オクターブ下で演奏すること)

ウ E.Sachse : Konzert F-dur für Posaune und Klavier (Zimmermann版)

j ユーフォニアム

ア トランペットのAに同じ。

イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone  
No.4、5、7、10、14、15、19、27、28、32 の中から当日指定

ウ J.B.Arban : Variations on a Song "Vois-tu la neige qui brille"  
(The beautiful Show)

k テューバ

ア トランペットのAに同じ。

イ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for BB flat TUBA (ROBERT KING MUSIC  
版) よりNo.7、11、12、13、14、15、19、21、25、27 の中から当日指定

ウ J.S.Bach-W.Bell 編曲 : Air and Bourrée (Carl Fischer版)

<p>教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】</p>	<p>1 打楽器</p> <p>ア 小太鼓の基本奏法 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち (緩→急→緩 等、当日指定)、ロール (&lt;、&gt;、&lt; &gt; 等、当日指定)</p> <p>イ Anthony J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum より No.3、13の中から当日指定</p> <p>ウ Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone (Alfred版) より Bach's Violin Concerto in A minor Adapted for Xylophone by M.Goldenberg Allegro moderato (94～96頁) (注) ウについては、マリンバで演奏すること。 マリンバ (5オクターブ半)、小太鼓、スタンド、バチ置きは貸出し可能</p> <p>【音楽に関する基礎能力の検査】 次の検査については全員受験すること。</p> <p>D 聴 音</p> <p>a 旋律聴音 8小節程度の単旋律を書き取る。</p> <p>b 和声聴音 8小節程度の密集四声体による和声を書き取る。 (調の範囲は、a・bいずれもシャープ又はフラットが二つまで)</p> <p>E ピアノ</p> <p>声楽及び管・打楽器を専門とする者は、次の曲を演奏する。 J. Haydn、W.A.Mozart、L.v.Beethoven : Sonatenより任意の一つの速い楽章。 ただし、ピアノを専門とする者は、Bのアをもってこれに代える。 (注) 1 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。 2 <u>作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u></p> <p>F 楽 典 (解答時間50分)</p>
<p>教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【美術分野】</p>	<p>&lt;美術実技選択者&gt; 次の検査を実施する。</p> <p>鉛筆による卓上モチーフの描写</p> <p>(注) 1 鉛筆、消しゴム (ねり消しゴムを含む。)、羽根ボウキは使用可 (各自持参すること)。それ以外の道具は使用不可とする。</p> <p>2 カルトン、カルトン用クリップ、画用紙、鉛筆削り用具は本学で準備する。</p> <p>3 鉛筆の硬度は問わない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[注] 実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 音楽実技を選択した者から15人程度、美術実技を選択した者から5人程度</p> </div>

## 【後期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	<p>次の検査を実施する。</p> <p>専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト</p> <p>次の 1)～16)の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <p>1) 陸上競技</p> <p>次の種目の中から1種目を選択し、試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。</p> <p>天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。</p> <p>男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投</p> <p>2) バスケットボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）</li> <li>2. 2対1又は3対2</li> <li>3. 速攻</li> <li>4. ゲーム</li> </ol> <p>3) サッカー</p> <p>フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。</p> <p>&lt;フィールドプレーヤー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短距離走</li> <li>2. 各種シュート</li> <li>3. ゲーム</li> </ol> <p>&lt;ゴールキーパー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入っていく。）</li> <li>2. キックの技能</li> </ol> <p>4) ラグビーフットボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール）</li> <li>2. ヒット（コンタクト）</li> <li>3. タックル</li> <li>4. パス</li> <li>5. タッチフット</li> </ol> <p>5) バレーボール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高到達点</li> <li>2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）</li> <li>3. 対人レシーブ</li> <li>4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）</li> <li>5. ゲーム</li> </ol> <p>6) ハンドボール</p> <p>コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。</p> <p>&lt;コートプレーヤー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シュート</li> <li>2. 1対1の攻撃</li> <li>3. ゲーム（3対3）</li> <li>4. 遠投</li> </ol> <p>&lt;ゴールキーパー&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シュートセーブ</li> <li>2. ゲーム（3対3）</li> <li>3. 遠投</li> </ol>

教育コミュニティ支援専攻  
スポーツ健康コース

- 7) 卓球  
ゲーム (シングルス)
- 8) 硬式テニス  
ゲーム (シングルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 9) ソフトテニス  
ゲーム (ダブルス)  
雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。
- 10) 硬式野球  
1. バッティング  
2. 走塁 (ベースランニング)  
3. 3-1. 野手 又は 3-2. 投手 を選択して検査を行う。  
3-1. 野手 (各自のポジションでの守備)  
3-2. 投手 (ピッチング)  
雨天時は、3-1. 野手 (各自のポジションでの守備) の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
- 11) バドミントン  
ゲーム (シングルス)
- 12) 体操競技  
男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。  
女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
- 13) ダンス  
1. 基礎的身体運動：示範の動き (伴奏付き) を練習後に実施。  
2. 短いフレーズの創作 (現代的なリズム)：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。  
3. 課題による創作：課題 (伴奏付き) を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。
- 14) 柔 道  
1. 受身  
2. 立技  
3. 寝技  
4. 乱取
- 15) 剣 道  
1. 切り返し  
2. 応じ技  
3. 互角稽古・試合稽古
- 16) 水泳競技 (競泳)  
次の種目の中から 1 種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。  
50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

<音楽実技選択者>

【専門】 志望専門別に受験すること。

志望専門別検査科目表

検査科目	志望専門 声 楽	器 楽	
		ピアノ	管・打楽器
声 楽	A		
ピ ア ノ		B	
管・打楽器			C

A 声 楽

自由曲 2曲

- (注) 1 歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。  
 2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。  
 3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。  
 4 伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。ただし、  
 1ページの大きさはB5判(縦257mm×横182mm)とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。  
 5 伴奏者は本学で配置する。

B ピアノ

自由曲 1曲

・バッハ平均律ピアノ曲集及びショパン練習曲集を除く。 ・ソナタの場合は1つの速い楽章。
--

- (注) 1 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。  
 2 自由曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

C 管・打楽器

楽器別により、それぞれ指定(ア、イ)されたものを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。

自由曲については、楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

a フルート

- ア 長調の音階及び半音階(調及びアーティキュレーションは当日指定)  
 イ 自由曲 1曲

b オーボエ

- ア フルートのアに同じ。  
 イ 自由曲 1曲

c クラリネット

- ア フルートのアに同じ。  
 イ 自由曲 1曲

d ファゴット

- ア フルートのアに同じ。  
 イ 自由曲 1曲

e サクソフォーン


- ア フルートのアに同じ。  
 イ 自由曲 1曲

教育コミュニティ支援専攻  
芸術表現コース  
【音楽分野】

教育コミュニティ支援専攻  
芸術表現コース  
【音楽分野】

f トランペット  
ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音（調は当日指定）

M.M.♩=88 Listesso tempo



イ 自由曲 1曲

g ホルン  
ア トランペットのアに同じ。  
イ 自由曲 1曲

h トロンボーン  
ア トランペットのアに同じ。  
イ 自由曲 1曲

i バス・トロンボーン  
ア トランペットのアに同じ。  
イ 自由曲 1曲

j ユーフォニアム  
ア トランペットのアに同じ。  
イ 自由曲 1曲

k テューバ  
ア トランペットのアに同じ。  
イ 自由曲 1曲

l 打楽器  
ア 小太鼓の基本奏法  
1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち  
(緩→急→緩 等、当日指定)、ロール (<、>、< > 等、当日指定)  
イ 小太鼓、マリンバのいずれかを用いた自由曲 1曲  
(注) マリンバ(5オクターブ半)、小太鼓、スタンド、パチ置きは貸出し可能

教育コミュニティ支援専攻  
芸術表現コース  
【美術分野】

<美術実技選択者>  
次の検査を実施する。

鉛筆による卓上モチーフの描写

(注) 1 鉛筆、消しゴム(ねり消しゴムを含む。)、羽根ボウキは使用可(各自持参すること)。それ以外の道具は使用不可とする。  
2 カルトン、カルトン用クリップ、画用紙、鉛筆削り用具は本学で準備する。  
3 鉛筆の硬度は問わない。

[注] 実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。  
音楽実技を選択した者から5人程度、美術実技を選択した者から5人程度

別表6 日本留学試験科目区分一覧

学科・専攻・コース		科目区分
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース
		環境安全科学コース
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース
		スポーツ健康コース
		芸術表現コース
	グローバル教育専攻	日本語教育コース
		国際協働英語コース
		文系又は理系

科目区分	科目	目的	時間	得点範囲
理系	日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125分	0～450点
	理科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点
	数学（コース2）	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点
文系	日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125分	0～450点
	総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80分	0～200点
	数学（コース1）	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点

- 備考
1. 出題言語は、日本語とします。
  2. 「日本語」の成績は、「読解」・「聴解・聴読解」・「記述」の3領域とします。
  3. 「理科」の成績は、「物理」・「化学」・「生物」から2科目とします。
  4. 出題範囲は、各科目のシラバス〔独立行政法人日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/> に掲載〕を参照してください。


## 募集要項（一般選抜・学校推薦型選抜及び私費外国人留学生）の公表及び請求方法

令和8年度一般選抜学生募集要項は、令和7年11月上旬にウェブページ上で公表する予定です。  
 令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項は令和7年7月下旬にウェブページ上で公表する予定です。  
 紙冊子での配布は行いませんので、本学ウェブページからダウンロードしてください。

なお、私費外国人留学生募集要項（入学者選抜に関する細目及び志願票等出願手続に必要な書類を含みます。）は、令和7年6月下旬に公表しています。


### 請求方法

#### ① 大学ウェブページから請求する場合

大学のウェブページから  テレメールを利用して大学案内及び私費外国人留学生募集要項等の資料請求ができます。

詳細は、大阪教育大学ウェブページ (<https://osaka-kyoiku.ac.jp>) を参照してください。

#### ② インターネット（パソコン・スマホ）で請求する場合

1) 次の方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ)	<a href="https://telemail.jp">https://telemail.jp</a>	スマホで右のバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	
-----------------------	---	---	---

2) 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始日	受付終了日
大学案内	565132	7月下旬発送予定	常時受付
入学者選抜要項	585132	7月下旬発送予定	常時受付
入学者選抜要項・大学案内	565102	7月下旬発送予定	常時受付
私費外国人留学生募集要項	565182	発送開始済	令和7年12月15日
私費外国人留学生募集要項・大学案内	585182	7月下旬発送予定	令和7年12月15日

※料金についてはテレメールのウェブページを確認してください。

※日程は変更になる可能性があります。

3) あとはガイダンスに従って登録してください。

#### 1)、2)に関する注意事項

- ・ 発送開始日以後に請求された資料は請求してから3～5日後に届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては、1週間以上かかる場合もあります（届くまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへ問い合わせてください。なお、土曜・日曜・祝日の配達はありません。
- ・ 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送されます。なお、発送開始日は変更開始になる場合があります。
- ・ 料金は、届いた資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、資料到着後2週間以内に表示料金を支払ってください。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。料金は資料の重量変更により変更になる場合があります。
- ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合があります。

① ② の請求方法についての問い合わせは  
 テレメールカスタマーセンター  
 IP電話050-8601-0102（9：30～18：00）まで

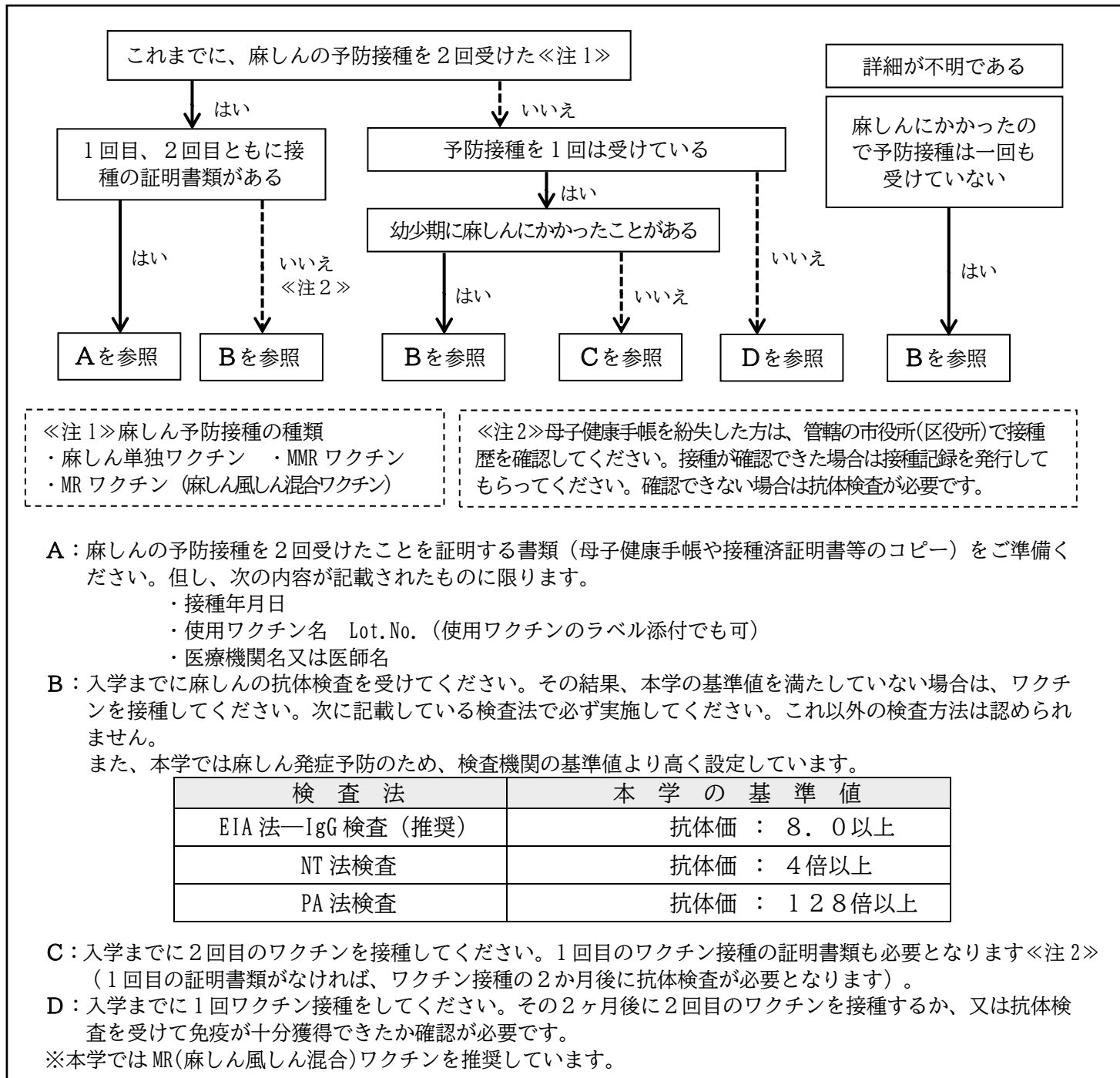
※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロンページが管理運営しています。

## 麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

本学では、学校における麻しん対策ガイドラインに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】を提出していただいています。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は、入学手続関係書類等と一緒に送付されますが、お手元に届いてから入学手続までの期間が短い場合がある上、国内の麻しんワクチン不足が懸念されているため、次のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。

※特別な事情を除き、原則2回の予防接種を強く推奨しています。



【麻しん(はしか)に関する確認書】については、入学手続に関する事前のお知らせです。  
 入学試験の出願や受験には関係ありません。

<問い合わせ先>大阪教育大学保健センター TEL 072-978-3811（受付時間 平日9：00～16：00）

令和7年度 学部入学試験志願者・受験者・合格者・入学者数一覧表

令和7年4月1日現在

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

区 分			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
学校教育教員養成課程	教科教育専攻	技術教育コース	4	10	10	5	5
		学校教育教員養成課程 小計	4	10	10	5	5
教員養成課程 合計			4	10	10	5	5
教育協働学科	教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース	20	22	22	20	20
		芸術表現コース	10	23	23	11	11
教育協働学科 合計			30	45	45	31	31
教育学部 総計			34	55	55	36	36

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

区 分			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	5	15	15	6	6
		小学校教育コース	17	64	64	17	17
	次世代教育専攻	教育探究コース	10	27	27	10	10
		教科教育専攻	国語教育コース	10	21	21	10
	英語教育コース		8	24	24	8	8
	社会科教育コース		14	58	58	14	14
	理科教育コース		10	43	42	10	10
	家政教育コース		4	7	7	4	4
	保健体育コース		5	8	8	5	5
	音楽教育コース		6	15	15	6	6
	美術・書道教育コース		3	4	4	3	3
特別支援教育専攻		7	16	16	7	7	
学校教育教員養成課程 小計			99	302	301	100	100
教員養成課程 合計			99	302	301	100	100
教育協働学科	教育イノベーション専攻	環境安全科学コース	10	6	6	6	6
	グローバル教育専攻	日本語教育コース	5	12	12	5	5
		国際協働英語コース	5	12	12	5	5
教育協働学科 合計			20	30	30	16	16
教育学部 総計			119	332	331	116	116

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格内定者	最終合格者	入学者
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	5	23	23	8	4	4
学校教育教員養成課程 小計	5	23	23	8	4	4
教員養成課程 合計	5	23	23	8	4	4
教育学部 総計	5	23	23	8	4	4

令和7年度 学部入学試験志願者・受験者・合格者・入学者数一覧表（日程別）

前期日程

令和7年4月1日現在

区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
学校教育教員 養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	10	28	22	12	12
		小学校教育コース	23	64	48	27	27
	次世代教育専攻	教育探究コース	20	49	39	26	24
		ICT教育コース	12	22	21	13	12
	教科教育専攻	国語教育コース	30	59	46	32	30
		英語教育コース	17	33	24	19	19
		社会科教育コース	26	49	36	28	27
		数学教育コース	25	50	50	30	30
		理科教育コース	35	76	61	39	38
		技術教育コース	6	10	10	5	5
		家政教育コース	8	28	25	9	8
		保健体育コース	25	67	64	27	25
		音楽教育コース	14	23	15	14	14
		美術・書道教育コース	17	28	25	21	20
	特別支援教育専攻	30	54	46	33	33	
小学校教育（夜間）5年専攻	25	45	43	30	26		
学校 教育 教員 養成 課程 小 計		323	685	575	365	350	
養護教諭養成課程		25	51	49	25	25	
教 員 養 成 課 程 合 計		348	736	624	390	375	
教育協働学科	教育イノベーション 専攻	数理・知能情報コース	25	58	54	33	30
		環境安全科学コース	40	60	55	51	49
	教育コミュニティ 支援専攻	心理科学コース	20	47	46	27	24
		スポーツ健康コース	20	100	92	25	24
		芸術表現コース	20	56	55	23	22
	グローバル 教育専攻	日本語教育コース	30	88	76	35	31
国際協働英語コース		25	116	106	35	32	
教 育 協 働 学 科 合 計		180	525	484	229	212	
教 育 学 部 総 計		528	1261	1108	619	587	

令和7年度 学部入学試験志願者・受験者・合格者・入学者数一覧表（日程別）

後期日程

令和7年4月1日現在

区 分		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	—	—	—	—	
		小学校教育コース	—	—	—	—	
	次世代教育専攻	教育探究コース	10	83	22	13	11
		ICT教育コース	8	40	16	9	9
	教科教育専攻	国語教育コース	5	59	20	6	5
		英語教育コース	—	—	—	—	—
		社会科教育コース	—	—	—	—	—
		数学教育コース	20	76	25	20	13
		理科教育コース	5	54	24	5	5
		技術教育コース	—	—	—	—	—
		家政教育コース	3	29	12	4	3
		保健体育コース	10	81	37	12	11
		音楽教育コース	—	—	—	—	—
		美術・書道教育コース	5	35	10	6	5
	特別支援教育専攻	8	49	17	9	8	
	小学校教育（夜間）5年専攻	15	86	33	15	11	
	学校教育教員養成課程 小計		89	592	216	99	81
養護教諭養成課程		5	55	15	5	5	
教員養成課程 合計		94	647	231	104	86	
教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	20	78	37	25	12
		環境安全科学コース	20	71	25	24	19
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	10	71	22	12	10
		スポーツ健康コース	10	124	56	10	9
		芸術表現コース	10	67	31	11	11
	グローバル教育専攻	日本語教育コース	—	—	—	—	—
国際協働英語コース		—	—	—	—	—	
教育協働学科 合計		70	411	171	82	61	
教育学部 総計		164	1058	402	186	147	

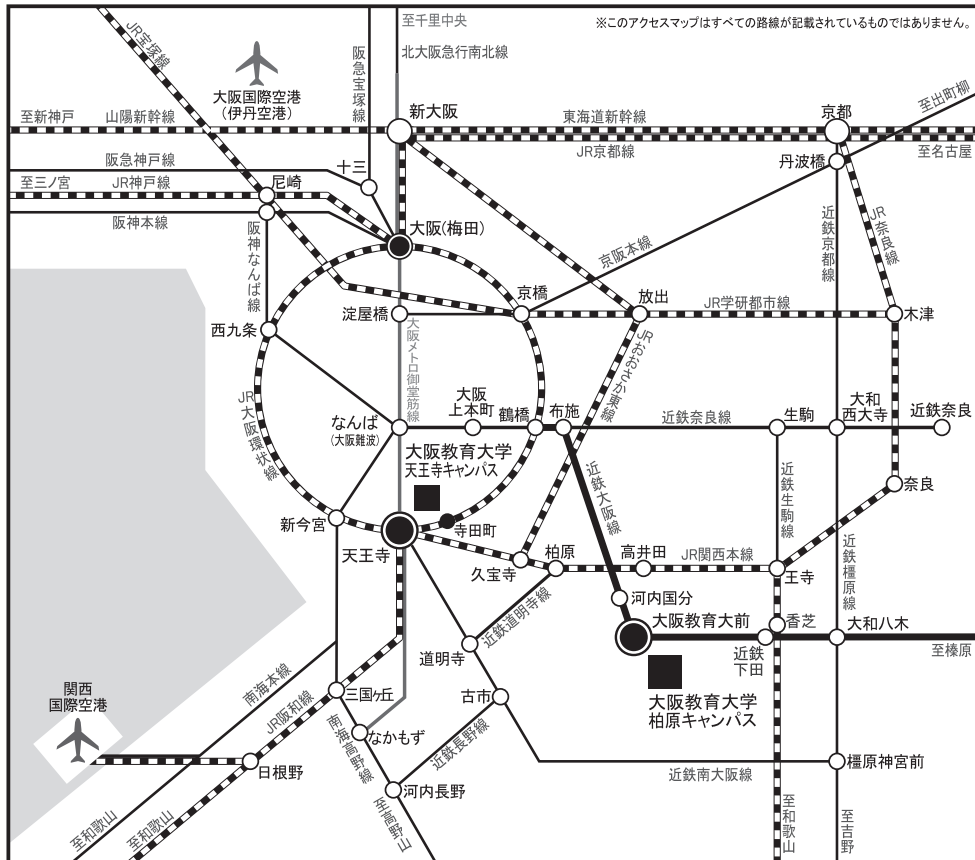
令和7年度 学部一般選抜結果（合格者の成績）

区分		前期									後期										
		募集人員	合格者数	配点		配点合計	総合得点				募集人員	合格者数	配点		配点合計	総合得点					
				共通テスト	個別		平均	平均(得点率)	最低	最低(得点率)			共通テスト	個別		平均	平均(得点率)	最低	最低(得点率)		
学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	10	12	950	300	1250	900.4	72.0%	826	66.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		小学校教育コース	23	27	950	300	1250	879.1	70.3%	819	65.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	次世代教育専攻	教育探究コース	20	26	950	360	1310	870.5	66.4%	831	63.4%	10	13	950	360	1310	928.1	70.8%	839	64.0%	
		ICT教育コース	12	13	950	600	1550	908.7	58.6%	777	50.1%	8	9	950	600	1550	1015.3	65.5%	866	55.9%	
	教科教育専攻	国語教育コース	30	32	950	600	1550	1007.9	65.0%	871	56.2%	5	6	950	600	1550	※	※	※	※	
		英語教育コース	17	19	1150	400	1550	1115.8	72.0%	1026	66.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		社会科教育コース	26	28	950	300	1250	866.4	69.3%	799	63.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		数学教育コース	25	30	950	650	1600	1046.0	65.4%	926	57.9%	20	20	950	600	1550	912.9	58.9%	581	37.5%	
		理科教育コース	35	39	1150	600	1750	1218.7	69.6%	1093	62.5%	5	5	1350	600	1950	※	※	※	※	
		技術教育コース	6	5	950	510	1460	※	※	※	※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		家政教育コース	8	9	950	300	1250	818.8	65.5%	802	64.2%	3	4	950	600	1550	※	※	※	※	
		保健体育コース	25	27	750	560	1310	967.9	73.9%	914	69.8%	10	12	750	400	1150	865.2	75.2%	818	71.1%	
		音楽教育コース	14	14	750	560	1310	929.7	71.0%	826	63.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		美術・書道教育コース	17	21	750	550	1300	861.0	66.2%	767	59.0%	5	6	750	550	1300	※	※	※	※	
	特別支援教育専攻		30	33	950	300	1250	778.6	62.3%	697	55.8%	8	9	950	450	1400	941.1	67.2%	863	61.6%	
	小学校教育（夜間）5年専攻		25	30	950	300	1250	708.4	56.7%	642	51.4%	15	15	950	450	1400	867.3	62.0%	802	57.3%	
	養護教諭養成課程		25	25	950	300	1250	851.2	68.1%	805	64.4%	5	5	950	300	1250	※	※	※	※	
	教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	25	33	950	600	1550	929.2	59.9%	795	51.3%	20	25	950	600	1550	1050.3	67.8%	833	53.7%
			環境安全科学コース	40	51	950	600	1550	967.5	62.4%	761	49.1%	20	24	950	600	1550	1035.9	66.8%	875	56.5%
教育コミュニティ支援専攻		心理科学コース	20	27	950	450	1400	995.1	71.1%	954	68.1%	10	12	950	650	1600	1212.3	75.8%	1180	73.8%	
		スポーツ健康コース	20	25	550	500	1050	810.1	77.2%	※	※	10	10	550	500	1050	821.2	78.2%	※	※	
		芸術表現コース	20	23	550	500	1050	820.1	78.1%	※	※	10	11	550	500	1050	787.2	75.0%	※	※	
グローバル教育専攻		日本語教育コース	30	35	550	300	850	593.0	69.8%	562	66.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	国際協働英語コース	25	35	750	300	1050	832.6	79.3%	790	75.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※合格者が6人以下の募集区分については、合格者の成績情報は開示しておりません。

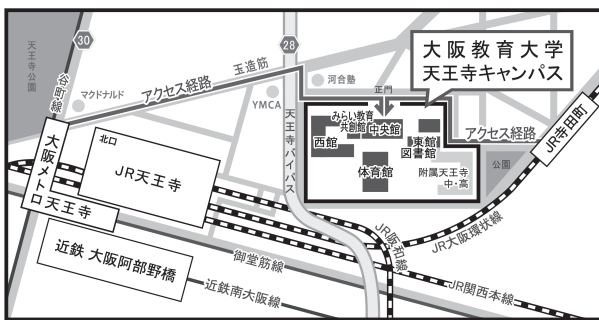
※一部の専攻の合格者の総合最低点は公開していません。

# 大学所在地略図



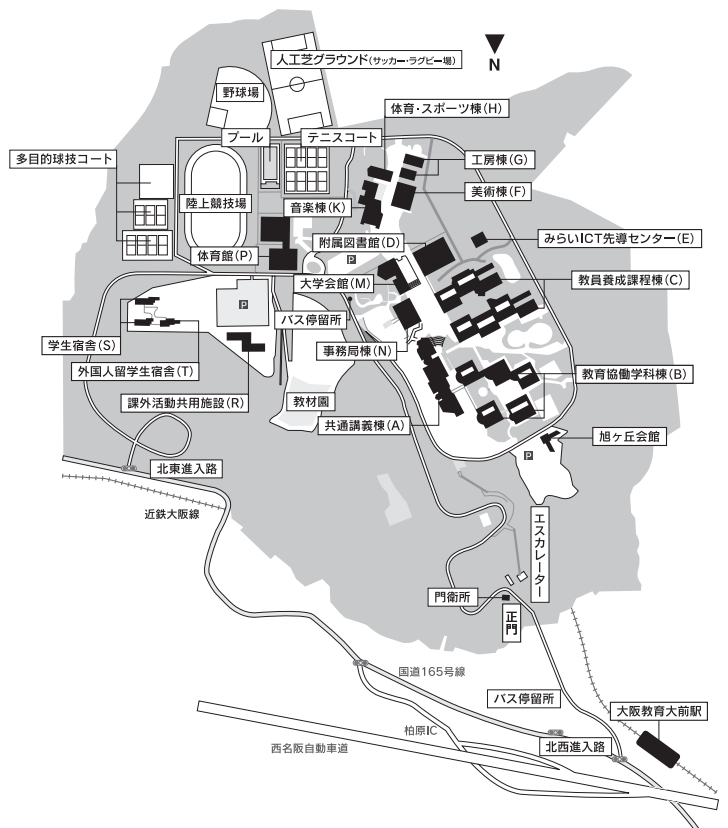
## 天王寺キャンパス

所在地 大阪市天王寺区南河堀町4-88  
 交通 JR大阪環状線「寺田町駅」下車 南出口を西へ約350m  
 JR・大阪メトロ「天王寺駅」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車 東へ約600m



## 柏原キャンパス

所在地 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1  
 交通 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」南東へ約1km  
 ※エスカレーター（上り専用3基乗り継ぎ）、途中階段あり







大阪教育大学では、次の入試情報及び学生生活案内についてウェブページでお知らせしています。また、災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。

(大学案内・募集要項の請求については61頁を確認してください。)

- ・教育学部（一般選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生、第3年次編入学）
- ・大学院教育学研究科（修士課程）
- ・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
- ・大学院学校教育学研究科（博士後期課程）
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ  
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



問い合わせ先

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL 072-978-3324(入試課直通)

(受付時間：平日9:00~17:00)

FAX 072-978-3327

E-Mail nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp